# Intel Unite<sup>®</sup> V3.3 ソリューション構築ガイド

## 目次

Intel Unite <sup>®</sup> ソリューションのマニュアル	1
Intel Unite <sup>®</sup> ソリューションをお使いになる前に	1
マニュアルの表記	1
Intel Unite ソリューションのインストール概要	2
エンタープライズ・モード	2
スモールビジネス・モード	3
エンタープライズ・モードでのインストール	4
エンタープライズ・サーバーのインストール	4
● コンピューター名を設定する	4
● IP アドレスを固定する	6
● Microsoft インターネット インフォメーション サービス(IIS)を有効にする	8
● ドメインのセットアップ	. 14
● DNS の設定	. 20
● DHCP サーバーの設定	. 24
<ul> <li>● 証明機関を設定する</li> </ul>	. 35
● Microsoft インターネット インフォメーション サービス(IIS)を構成する	. 44
● SQL Server のインストール	. 49
● Intel Unite エンタープライズ・サーバーをインストールする	. 53
● 正常にインストールされたことを確認する	. 55
● 電子メールサーバーの設定	. 60
● Unite Hub 用の Active Directory のアカウント作成	. 61
Unite ハフのインストール	. 63
● 八フ PC (Q956/MRE) のセットアップ	. 63
<ul> <li>● 証明書のインストール</li> </ul>	. 64
● Intel Unite ハブ アブリケーションのインストール	. 68
<ul> <li>● ノアイアウォールの設定</li></ul>	. 73
● Intel Unite アノリケーション(ハフ)の起動。	. 76
Unite クライアントのインストール	. 78



## Intel Unite<sup>®</sup> ソリューションのマニュアル

本書では、エンタープライズ・モードでお使いになる場合の導入手順を、 画面入りで説明しています。

本書のほかに、ダウンロードサイトに次のマニュアルが用意されています。用途に応じてご活用く ださい。

・Intel Unite ソリューション V3.3 エンタープライズ導入ガイド.pdf

- ・Intel Unite ソリューション V3.3 スモールビジネスユーザーガイド.pdf
- ・Intel Unite ソリューション V3.3 ユーザーガイド.pdf

#### Intel Unite<sup>®</sup> ソリューションをお使いになる前に

Intel Unite<sup>®</sup>ソリューションをご使用中に省電力モードにならないよう、ハブ PC となる本装置 (Q956/MRE)を次のように設定してください。本書の手順の中でも説明しています。

1 【 (スタート) → 「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「電源オプション」の順にクリックします。

2 「バランス」の「プラン設定の変更」をクリックします。

次のように設定します。

- ・ディスプレイの電源を切る:適用しない
- ・コンピューターをスリープ状態にする:適用しない
- 3 「変更の保存」をクリックし、ウィンドウを閉じます。

#### マニュアルの表記

このマニュアルの内容は、2018年9月現在のものです。

#### ■ 画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種や環境によって、実際に表示される画 面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

#### ■ 製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Intel Unite <sup>®</sup>	Intel Unite

#### ■ 商標および著作権について

インテル、Intel および Intel Unite は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2018

## Intel Unite ソリューションのインストール概要

Intel Unite ソリューションには、次の2通りのインストール方法があります。 本書では、主に「エンタープライズ・モード」での導入手順をご案内しています。

#### エンタープライズ・モード

複数の会議室や別のオフィスなどから資料を共有し、オンライン会議を行うことができます。 Microsoft Windows Server 2008 以降、Microsoft SQL Server 2008 R2 以降(Express 版を除く) が稼働する Web サーバーが必要になります。

遠隔地とのオンライン会議を行う場合、別途音声会議システム等を利用する必要があります。 次の図は、Skype for Business プラグインを利用し、Skype 会議と連携する場合の構成例になり ます。



## スモールビジネス・モード

1つの会議室で資料を共有しながら会議を行うことができます。 スモールビジネス・モードでインストールする方法については、『Intel Unite ソリューション V3.3 スモールビジネスユーザーガイド.pdf』をご覧ください。



## エンタープライズ・モードでのインストール

エンタープライズ・モードでお使いになる場合は、次の順序でインストールを実施します。

- ・エンタープライズ・サーバーのインストール
- ・Unite ハブのインストール
- ・Unite クライアントのインストール

本書では、操作手順を中心に説明しています。システム要件や注意事項などは、『Intel Unite ソリ ューション V3.3 エンタープライズ導入ガイド.pdf』をご覧ください。

## 修重要

- ・本書の手順で使用しているサーバー名やドメイン名などは説明のための一例です。お使いの環境に合わせて変更してください。そのまま入力した場合、正しく動作しません。
- ・お使いの環境により必要な設定が異なります。環境に合わせて設定してください。

#### エンタープライズ・サーバーのインストール

ここでは、Windows Server 2012 R2 Standard での設定を例に、インストールの手順を説明します。

- コンピューター名を設定する
  - 1 📑 (スタート) をクリックし、「コントロール パネル」をクリックします。



「コントロールパネル」が開きます。

2 「システムとセキュリティ」→「システム」の順にクリックします。



3 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」の「設定の変更」をクリックします。



#### **4** 「変更」をクリックします。

	システムのプロパティ
コンピューター名 ハードウェア	詳細設定 リモート
次の情報は、この	コンピューターをネットワーク上で識別するために使われます。
コンピューターの説明( <u>D</u> ):	[
	例: "IIS Production Server" または "Accounting Server"
フル コンピューター名:	WIN-KS42191PJL7
ワークグループ:	WORKGROUP
コンピューター名を変更したり るには [変更] をかりゅうしてくり	マインやワークグループを変更したりす な変更( <u>C</u> )
	OK         キャンセル         適用(A)

5 「コンピューター名」に、エンタープライズ・サーバー用の名前(この例では"UniteServer") を入力し、「OK」をクリックします。

コンピューター名/ドメイン名の変更 ×
このコンピューターの名前とメンバーシップを変更できます。変更により、ネット ワーク リソースへのアクセスに影響する場合があります。
コンピューター名( <u>C</u> ):
UniteServer
フルコンピューター名: UniteServer
■====================================
<ul> <li>ワークグループ(<u>W</u>):</li> <li>WORKGROUP</li> </ul>
OK キャンセル

6 再起動を要求されますので、「システムのプロパティ」を閉じ、再起動を実行します。

- IP アドレスを固定する
  - 1 🔣 (スタート)を右クリックし、「ネットワーク接続」をクリックします。



2 使用するネットワークデバイスを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



3 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



4 「次の IP アドレスを使う」の○をクリックして●にし、IP アドレス、サブネットマスクを設定し(この例では 192.168.1.101、255.255.255.0)、「OK」をクリックします。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ			
全般			
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を目動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てください。			
○ IP アドレスを自動的に取得する( <u>O</u> )			
<ul> <li>         ・</li></ul>			
IP アドレス( <u>I</u> ):	192.168.1.101		
サブネット マスク( <u>U</u> ):	255 . 255 . 255 . 0		
デフォルト ゲートウェイ( <u>D</u> ):			
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取	得する( <u>B</u> )		
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E	):		
優先 DNS サーバー( <u>P</u> ):			
代替 DNS サーバー( <u>A</u> ):			
□終了時に設定を検証する( <u>し</u> )	詳細設定( <u>V</u> )		
	OK キャンセル		

#### ● Microsoft インターネット インフォメーション サービス (IIS) を有効にする

Windows Server 2008 の場合は、事前に.NET Framework 4.5 の更新プログラムをダウンロードし、適用する必要があります。

(https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=40779)

1 【 (スタート)をクリックし、「管理ツール」をクリックします。



#### 2 「サーバー マネージャー」をダブルクリックします。

(a) [] = [	管理ツール			_ <b>D</b> ×	¢
ファイル ホーム 共有 表示 🗸 🗸 🗸 🗸 🗸 🗸 🗸 🗸					0
🔄 🕘 - ↑ 🗟 ו ⊐>トロール パネ	ル ▶ システムとセキュリティ ▶ 管理ツール	~ ¢	管理ツールの検索	م ر	
▲ ☆ ☆気に ♪ わ	名前	更新日時	種類	サイズ	^
	🕺 DNS	2013/08/22 15:55	ショートカット	2 KB	-
	🔝 iSCSI イニシエーター	2013/08/22 15:57	ショートカット	2 KB	
	📷 ODBC データ ソース (32 ビット)	2013/08/22 8:56	ショートカット	2 KB	
直段虹衣木のご物用	📷 ODBC データ ソース (64 ビット)	2013/08/22 15:59	ショートカット	2 KB	
	😸 Windows PowerShell (x86)	2013/08/23 0:37	ショートカット	3 KB	
	😹 Windows PowerShell ISE (x86)	2013/08/22 15:55	ショートカット	2 KB	
	😹 Windows PowerShell ISE	2013/08/22 15:55	ショートカット	2 KB	
	🚼 Windows PowerShell 用の Active Directory モジュール	2013/08/22 15:55	ショートカット	2 KB	
	😸 Windows Server バックアップ	2013/08/22 15:53	ショートカット	2 KB	
	減 Windows メモリ診断	2013/08/22 15:52	ショートカット	2 KB	
	🔝 イベント ビューアー	2013/08/22 15:55	ショートカット	2 KB	
	剤 インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー	2013/08/22 15:50	ショートカット	2 KB	≡
$b = 1(b - 1)^{-1} + \frac{1}{2}(2b)$	🔜 グループ ポリシーの管理	2013/08/22 15:56	ショートカット	2 KB	
	🛃 コンピューターの管理	2013/08/22 15:54	ショートカット	2 KB	
	🝺 コンポーネント サービス	2013/08/22 15:57	ショートカット	2 KB	
P	🛃 サーバー マネージャー	2013/08/22 15:55	ショートカット	2 KB	
	🗟 サービス	2013/08/22 15:54	ショートカット	2 KB	
	🔂 システム構成	2013/08/22 15:53	ショートカット	2 KB	
	😰 システム情報	2013/08/22 15:53	ショートカット	2 KB	
	ᡒ セキュリティが強化された Windows ファイアウォール	2013/08/22 15:45	ショートカット	2 KB	
	🛃 セキュリティの構成ウィザード	2013/08/22 15:45	ショートカット	2 KB	
	쥕 タスク スケジューラ	2013/08/22 15:55	ショートカット	2 KB	~
	< III			>	
35 個の項目					

3 「役割と機能の追加」をクリックします。



**4** 「役割と機能の追加ウィザード(開始する前に)」画面で、「次へ」をクリックします。



5 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします



「サーバープールからサーバーを選択」をクリックし、サーバープールの欄からサーバーをクリックし、「次へ」をクリックします。

)	役割と機能の追加ウィザード	
対象サーバーの	選択	対象サーバー UniteServer
開始する前に インストールの種類 サーパーの選択	役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。 ●、サーバー ブールからサーバーを選択 ○ 仮想ハート ディスクから選択	
サーバーの役割 機能 確認	サーバー ブール フィルター:	
結果	名前 IP アドレス オペレーティング システム	
	1 台のコンビューターが見つかりました - つのページンドレー Windows Senars 2013 を実行しており、サービー マネージャーの「サービーの2001 ママンドを考	1日1.7、急加土かれ
	しか、ノには、Windows Jerver レンス こみに JUC (ログ ソーパーマネッシーか (ソーパーの通知) コイア (生) サーバーが表示されます。オフライン サーバーや、データ成集が完了していない、新たに追加されたサーバーは表示され (前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > (クストール	(I) キャンセル

7 ① 「Web サーバー (IIS)」をクリックすると、「役割と機能の追加ウィザード」が表示されるので、② 「機能の追加」をクリックします。「サーバーの役割の選択」 画面に戻ったら③ 「次へ」 をクリックします。

2	役割と機能の追加ウィザード		x	
サーバーの役割の	選択	対象サー/ UniteSet		役割と機能の追加ウィザード
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 結果	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 役割	説明 Web サーバー (IIS) は、信頼性、智 性に優れた、スケーラブルな Web ア ケーション インフラストラクチャです。	Wee Zohi Jaj	ab サーバー (IIS) に必要な機能を追加しますか? 機能を管理するには次のツールが必要ですが、同じサーバーにインストール 必要はありません。 Web サーバー (IIS) 4 管理ソール [ソール] IIS 管理コンソール 管理ソールを含める (存在する場合) 2 機能の追加 キャンセル
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u>	) > インストール(I) キャンセ	ŀ	

8 次の項目をクリックして選択します。

- .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)
- .NET Framework 4.5
- ASP.NET 4.5
- HTTP アクティブ化(WCF サービス下)

選択時に「役割と機能の追加ウィザード」が表示された場合は、「機能の追加」をクリックしま す(インストール済みのものは操作不要です)。

最後に「次へ」をクリックします。

<b>b</b>	役割と機能の追加ウィザード		_ <b>_</b> ×
<ul> <li></li></ul>	役割と機能の追加ウイザード 選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 機能		L ロ X     ス     オキャー・     オキャー・     ス     オキャー・     ス     オキャー・     ス     オー     オー
	BranchCache Direct Play	~	
	<	пへ( <u>P</u> )	次へ(N) >   インストール(I)  キャンセル

**9** 「Web サーバーの役割(IIS)」画面で「次へ」をクリックします。

B	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 X
Web サーバーの役	殳割 (IIS)	対象サーバー UniteServer
開始する前に インストールの種類	Web サーバーは、インターネット、またはイントラネットやエクストラネットを介して、情報を共有できるコンピューターです。Web サーターネット インフォメーション サービス (IIS) 8.5 が含まれます。IIS 8.5 は、セキュリティの強化、診断および管理、IIS 8.5、A: Windows Communication Foundation を統合した、統合 Web プラットフォームを備えています。	-バーの役割にはイン SP.NET、および
サーバーの選択 サーバーの役割 機能	注意事項: ・ Windows システム リソース マネージャー (WSRM) を使用すると、Web サーバーのトラフィックを平等に処理できます。 特に 数の公割がある場合け有効です	このコンピューターに複
Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス	<ul> <li>Web サーバー (IIS) の役割の既定のインストールには、静的なコンテンツの提供、簡単なカスタマイズ (既定のドキュメントやサーバーの動作状況の監視やログへの記録、静的なコンテンツの圧縮の構成を実現するための役割サービスのインストールが</li> </ul>	HTTP エラーなど)、 含まれます。
確認結果		
	AACD 2 - V - 112 (05+94)	
	<前へ(P) 次へ(N) > インストー	ル(王) キャンセル

10 次の項目を選択し、最後に「次へ」をクリックします(選択済みのものは操作不要です)。

- Web サーバー
- HTTP 共通機能
- 既定のドキュメント

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	
役割サービスの選携	R	対象サーバー UniteServer
開始する前に	Web サーバー (IIS) のインストールする役割サービスを選択します	
インストールの種類	役割サービス	説明
サーバーの選択 サーバーの役割 機能 Web サーバーの役割 (IIS) <u>役割サービス</u> 確認 結果	<ul> <li>✓ Web サーバー</li> <li>✓ HTTP 共通機能</li> <li>✓ HTTP エラー</li> <li>✓ ディレクトリの参照</li> <li>✓ 既定のドキュメント</li> <li>✓ 静的なコンテンツ</li> <li>HTTP リダイレクト</li> <li>WebDAV 発行</li> <li>✓ セキュリテイ</li> <li>✓ セキュリティ</li> <li>✓ セキュリティ</li> <li>✓ リ セキュリティ</li> <li>✓ 国家フィルター</li> <li>IIS クライアント証明書マッピング認証</li> <li>IP およびドメインの制限</li> <li>SSL 証明書の集中サポート</li> <li>URL 承認</li> <li>Windows 認証</li> <li>クライアント証明書マッピング認証</li> <li>ダイジャスト認証</li> </ul>	<ul> <li>▲ Web サーバーでは HTML Web サイトのほか、必要 に応じて ASP.NET、ASP、および Web サーバー拡 張がサポートされます。Web サーバーを使用して、内 前または外部の Web サイトをホストしたり、開発者に Web ペースのアプリケーションの開発環境を提供する ことができます。</li> </ul>
	<前へ	(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

11 Windows Update へのアクセスができない環境では「代替ソースパスを指定する必要がありますか?」と表示される場合があります。この場合は、①「代替ソース パスの指定」をクリックし、②「代替ソース パスの指定」の「パス:」に Windows Server OS のインストールメディア上の"e:¥sources¥sxs"を指定し、③「OK」をクリックします。

(e:の部分は、メディアがセットされたドライブ名に変更します。)

最後に、④「インストール」をクリックします。

Ъ	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>_</b> X
インストール オプシ	ヨンの確認	対象サーバー UniteServer
▲ 代替ソースパスを指定する必要 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択	長がありますか? 1 つ以上のインストールの選択項目がインストール先サーバーにないソース ファイルです。サーバーは 選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール] をクリックしてく □ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、アのページに表示されている可能性があります。	t Windows Update、また… × ださい。
サーバーの運択 サーバーの役割 機能 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 結果	<ul> <li>ハレない場合は、「耐へ」をクリックして、チェック ボックスをオブにしてください。</li> <li>NET Framework 3.5 Features         <ul> <li>NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)</li> <li>NET Framework 4.5 Features</li> <li>ASP.NET 4.5</li> <li>WCF サービス             <ul></ul></li></ul></li></ul>	
Ĵ	アフリケーション開発 ASP.NET 4.5 	
	< 前へ( <u>P</u> )	インストール(I) キャンセル
Ē.	役割と機能の追加ウィザード	
代替ソース パスの指定 一部のサーバーに、すべての役割 ります。 ソース ファイルがインスト	3)、役割サービス、または機能を追加するために必要なすべてのソース ファイルがない可能性があ ールされていないか、オペレーティング システムのインストール後に削除された可能性があります。	
役割または機能をインストールす ポリシーで指定されている場所た	『るサーバーに必要なすべてのソース ファイルがない場合、Windows Update、またはグループ ♪らファイルを取得できる可能性があります。	
また、対象サーバーにリソース フ イル共有は、Everyone グルー サーバーのコンピューター(ローカ トにアクセスを許可しても不十分	ァイルがない場合は、リソース ファイルの代替パスを指定することもできます。ソース パスまたはファ プに読み取りアクセス許可を与えるか (セキュリティ上の理由からお勧めしません)、または対象 ル システム) アカウントに読み取りアクセス許可を与える必要があります。つまり、ユーザー アカウン とです。	
次の例は有効なソース ファイル ル メディアが挿入されています。	バスです。対象サーバーはローカル サーバーで、E: ドライブには Windows Server インストー	
.NET Framework 3.5 機能 ド ストア (SxS) フォルターにあり E:¥Sources¥SxS	のソース ファイルは標準インストールの一環としてはインストールされていませんが、 サイド バイ サイ )ます。 €	
他の機能のソース ファイルは、Ir インデックスを示すサフィックスを过 WIM:E:¥Sources	nstall.wim ファイルにあります。 パスに WIM: プレフィックスと、 ソース ファイルの取得元イメージの 自加してください。 次の例では、 インデックスは 4 です。 ¥Install.wim:4	
パス: e:¥sources¥sxs		
2	3 OK #721	
機能のインスト	ールが実行されます。	_

12 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

- ドメインのセットアップ
  - 1 【 (スタート) → 「管理ツール」の順にクリックし、「サーバー マネージャー」をダブルク リックします。
  - 2 「役割と機能の追加」をクリックします。
    「役割と機能の追加ウィザード(開始する前に)」が表示されます。
  - 3 「次へ」をクリックします。
  - **4** 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。
  - 5 「サーバープールからサーバーを選択」をクリックし、サーバープールの欄からサーバーをク リックし、「次へ」をクリックします。
  - 6 ①「Active Directory ドメイン サービス」をクリックし、「役割と機能の追加ウィザード」が 表示されたら②「機能の追加」をクリックし、③「サーバーの役割の選択」の画面で[次へ]を クリックします。



7 「機能の選択」画面で「次へ」をクリックします。



インストール オプシ	コンの確認 UniteServer
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 AD DS <b>確認</b> 結果	<ul> <li>選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール]をクリックしてください。</li> <li>必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する</li> <li>オブションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性があります。これらのオブションの機能をインストールしない場合は、[前へ]をクリックして、チェック ポックスをオフにしてください。</li> <li>Active Directory ドメイン サービス</li> <li>グルーブ ポリシーの管理</li> <li>リモート サーバー管理ツール</li> <li>役割管理ツール</li> <li>AD DS および AD LDS ツール</li> <li>Windows PowerShell の Active Directory モジュール</li> <li>AD DS ツール</li> <li>Active Directory 管理センター</li> <li>AD DS スナップインおよびコマンドライン ツール</li> </ul>
	構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定
	< 前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 【ンストール( <u>I</u> ) キャンセル

10 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

11 ① 「サーバー マネージャー」の通知領域(ウィンドウ右上)の「黄色い△の!」マークをクリックし、②表示されたポップアップの「展開後構成」にある「このサーバーをドメイン コントローラーに昇格する」をクリックします。



12 「Active Directory ドメイン サービス構成ウィザード」で①「新しいフォレストを追加する」 をクリックし、②ルートドメイン名を設定(この例では"fjunite.local"と設定)し、③「次 へ」をクリックします。

<b>a</b>	Active Directory ドメイン サービス構成ウィザード	_ <b>D</b> X
配置構成		ターゲット サーバー UniteServer
配置構成 ドメイン コントローラー オブ・・・ 追加オプション パス イプションの確認 前提条件のチェック インストール 結果	<ul> <li>配置操作を選択してください</li> <li>● 既存のドメインコントローラーを追加する(D)</li> <li>● 新しいドメインを既存のフォレストに追加する(E)</li> <li>● 新しいワオレストを追加する(E)</li> <li>この操作のドメイン情報を指定してください</li> <li>ルートドメイン名(R):</li> <li>2</li> <li>fjunite.local</li> </ul>	
	詳細 配置構成	
	<前へ(P) 次へ(N) > インストー	u(I) キャンセル

13 ①「ドメイン ネーム システム (DNS) サーバー」のチェックを外し、②「ディレクトリ サービス復元モード (DSRM) のパスワード」を設定し、③「次へ」をクリックします。

ディレクトリ サービス復元モードのパスワードは、Active Directory データベースをバック アップから復元する際に、システムをディレクトリ サービス復元モードで起動するために使 用します。パスワードの設定は、管理者が行ってください。

プション		ターゲット サーバー UniteServer	
7ォレストおよびルート ドメインの機能レ トの機能レベル: コントローラーの機能を指定してくださ インネームシステム (DNS) サーバー ーバル カタログ (GC)(G) み取り専用ドメイン コントローラー (RO	ペルを選択してください Windows Server 2012 R2 ▼ Windows Server 2012 R2 ▼ い (Q) DC)(R) (スワードを入力してください		
・F( <u>D</u> ): ・ドの確認入力( <u>C</u> ): ・ ジイン コントローラー オプション	••••••	]	
(1)ストール(I) キャンセル			
	プション フォレストおよびルート ドメインの機能レ トの機能レベル: の機能レベル: コントローラーの機能を指定してくださ インネームシステム (DNS) サーバー ーバル カタログ (GC)(G) ら取り専用ドメイン コントローラー (RC トリ サービス復元モード (DSRM) の/ ・F(D): ・Fの確認入力( <u>C</u> ): メイン コントローラー オプション < 前	プション         パルストおよびルート ドメインの機能レベルを選択してください         トの機能レベル:       Windows Server 2012 R2 ・         の機能レベル:       Windows Server 2012 R2 ・         コントローラーの機能を指定してください       ・         インネームシステム (DNS) サーバー(Q)       ・         ・パル カタログ (GC)(G)       ・         ・知り専用ドメイン コントローラー (RODC)(R)       ・         トリ サービス復元モード (DSRM) のパスワードを入力してください       ・         ・ド(D):       ・         ・下の確認入力(C):       ・         ・メイン コントローラー オプション       ③         <       前へ(P)       次へ(N) >         く       前へ(P)       次へ(N) >	

17

14 「NetBIOS ドメイン名」が手順 12 で設定したドメイン名(この例では"FJUNITE")になって いることを確認し、「次へ」をクリックします。

<b>b</b>	Active Directory ドメイン サービス構成ウィザード	_ 🗆 X
追加オプション		ターゲット サーバー UniteServer
配置構成 ドメイン コントローラー オプ・・・ <u>追加オプション</u> パス オプションの確認 前提条件のチェック インストール 結果	ドメインに割り当てられている NetBIOS 名を検証し、必要に応じて変更してください NetBIOS ドメイン名: FJUNITE	
	詳細 追加オプション < 前へ(P) 次へ(N) > インストー	い(王) キャンセル

#### 15 「次へ」をクリックします。

<b>b</b>	Active Directory ドメインサ-	ービス構成ウィザード	_ <b>D</b> X
パス			ターゲット サーバー UniteServer
配置構成 ドメイン コントローラー オブ・・・ 追加オブション ノ <b>パス</b> オプションの確認 前提条件のチェック インストール 結果	AD DS データベース、ログ ファイル、および データベースのフォルダー(D): ログ ファイルのフォルダー(L): SYSVOL フォルダー(Y):	SYSVOL の場所を指定してくださ C:¥Windows¥NTDS C:¥Windows¥NTDS C:¥Windows¥SYSVOL	EU  
	<	前へ( <u>P)</u> 次へ(N) >	1>21-1/(I) +7>21/

16 「オプションの確認」で表示された内容を確認し、「次へ」をクリックします。

<b>B</b>	Active Directory ドメイン サービス構成ウィザード	D X
オプションの確認	ターゲット Unite	サーバー Server
配置構成 ドメイン コントローラー オブ・・・ 追加オブション パス オプションの確認 前提条件のチェック インストール 結果	次の選択を確認してください: 新しいフォレストの最初の Active Directory ドメイン コントローラーとしてこのサーバーを構成します。 新しいドメイン名は "fjunite.local" です。これは新しいフォレスト名にもなります。 ドメインの NetBIOS 名: FJUNITE フォレストの機能レベル: Windows Server 2012 R2 ドメインの機能レベル: Windows Server 2012 R2 追加オプション: グローバル カタログ: はい DNS サーバー: いいえ データベース フォルダー: C:¥Windows¥NTDS これらの設定は、追加のインストールを自動化する Windows PowerShell スクリプトに エクスポートできます スクリプトの表 詳細 インストール オプション	▲
	<前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャ	ンセル

17 前提条件のチェックに合格すると「すべての前提条件のチェックに合格しました」と表示され、 「インストール」が有効になります。「インストール」をクリックすると、インストールが開始 されます(システムが自動的に再起動されます)。

<b>B</b>	Active Directory ドメイン サービス構成ウィザード
前提条件のチェック	ターゲット サーバー UniteServer
✓ すべての前提条件のチェックに含	合格しました。[インストール]をクリックしてインストールを開始してください。 詳細表示 🗙
配置構成 ドメイン コントローラー オブ… 追加オプション パス	Active Directory ドメイン サービスをこのコンピューターにインストールする前に、前提条件を確認する必要があります 前提条件のチェックを再実行
オ <b>プションの確認</b> 前提条件のチェック インストール 結果	<ul> <li>▲ Windows Server 2012 R2 ドメイン コントローラーには、セキュリティ設定 "Windows NT 4.0 と 互換性のある暗号化アルゴリズムを許可する"の既定値が設定されています。これにより、セキュリティ チャネル セッションを確立するときに、セキュリティの弱い暗号化アルゴリズムの使用は許可されなくなりま す。</li> </ul>
	この設定の詳細については、サボート技術消報(KB)の記事 942564 (http:// go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=104751) を参照してください。 ① 前提条件のチェックが完了しました ② すべての前提条件のチェックに合格しました。[インストール] をクリックしてインストールを開始してください。
	▲ 【インストール】をクリックすると、昇格処理の最後にサーバーが自動的に再起動されます。 詳細 前提条件
	<前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

- DNSの設定
  - 1 【 (スタート) → 「管理ツール」の順にクリックし、「サーバー マネージャー」をダブルク リックします。
  - **2** 「役割と機能の追加」をクリックします。 「役割と機能の追加ウィザード(開始する前に)」が表示されます。
  - 3 「次へ」をクリックします。
  - **4** 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。
  - 5 「サーバープールからサーバーを選択」をクリックし、サーバープールの欄からサーバーをク リックし、「次へ」をクリックします。
  - 6 ①「DNS サーバー」をクリックし、「役割と機能の追加ウィザード」が表示されたら②「機能の追加」をクリックし、③「サーバーの役割の選択」の画面で「次へ」をクリックします。

役割と機能の追加ウィザード	
選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 後期 Active Directory Federation Services Active Directory Rights Management サービス ダ Active Directory ドメイン サービス (インストール済み)	対象サーバー UniteServer.fjunite.local 説明 ドメイン ネーム システム (DNS) サーバー は、TCP/IP ネットフークの名前解決を行 います。DNS サーバーは、Active Directory ドメイン サービスと同じサー バーにインストールすると簡単に管理でき
Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス     Active Directory 証明書サービス     DHCP サーバー     DHCP サーバー     FAX サーバー     Hyper-V     Web サーバー (IIS) (12/43 個をインストール済み)     Windows Server Essentials エカスペリエンス     Windows Server Update Services     Windows 展開サービス     フガリケーション サーバー     Hut ン	ます。Active Directory ドメインサービ スの役割を選択すると、DNS サーバーと Active Directory ドメイン サービスが連 携して動作するようにインストールおよび構 成できます。
<u> &lt; m/(P)</u>	)> (1>ストール(1)) ギヤンセル
機能の追加ウィザード	
な機能を追加しますか?	
リールが必要ですが、同じサーバーにインストール	
-JL	
トーバー ツール	
	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 (数割) Active Directory Federation Services Active Directory Fyイン サービス (インストール済み) Active Directory デイトウェイト ディレクトリ サービス Active Directory 証明書サービス DHCP サーバー Windows Server Essentials エクスペリエンス Windows Server Update Services Windows 展開サービス アブリケーション サーバー (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<)) (<))) (<)) (<))) (<))) (<))) (<))) (<))) (<))) (<))) ())



#### 8 「DNS サーバー」画面で「次へ」をクリックします。

<b>B</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>_</b> ×	¢
DNS サーバー	UniteS	対象サーバー erver.fjunite.local	
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 DNSサーバー 確認 結果	<ul> <li>ドメイン ネーム システム (DNS) は、名前と数値インターネット アドレスとを関連付けるための標準的 DNS を使用することで、ユーザーは長い数字列の代わりに覚えやすい名前を使用してネットワーク つ できます。また、DNS には階層構造を持つ名前空間があるため、個々のホスト名がローカル ネットワ ネットワーク内において一意であることが保証されます。Windows の DNS サービスは Windows 成プロトコル (DHCP) サービスと統合できるため、ネットワークにコンピューターを追加する際に DNS る必要がありません。</li> <li>注意事項: <ul> <li>DNS サーバーを Active Directory ドメイン サービスに統合すると、DNS データがその他のディ データと共に自動的にレブリケートされ、DNS の管理が容易になります。</li> <li>Active Directory ドメイン サービスを使用するには、このネットワーク上に DNS サーバーがイン 必要があります。また、ドメイン コントローラーをインストールする場合は、Active Directory ドメ ストール ウィザードを使用して Active Directory ドメイン サービスの役割を選択することにより、 役割をインストールすることもできます。</li> </ul> </li> </ul>	3な方法です。 1ンピューターを参照 1-ク内または広域 上の動的ホスト構 レコードを追加す レクトリ サービス ストールされている インサービス イン DNS サーバーの	
	<前へ(P) 次へ(N) > インストール()	) キャンセル	]

9 「インストール」をクリックすると、機能のインストールが始まります。

	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>_</b> ×
インストール オプシ	ヨンの確認	対象サーバー UniteServer.fjunite.local
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには	、【インストール】 をクリックしてください。
インストールの種類	✓ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する	
サーバーの選択	オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに見 らのオプションの機能をインストールしない場合は、「前へ」をクリックして、チェック 7	長示されている可能性があります。これ ポックスをオフにしてください。
サーバーの役割		
機能	DNS サーバー	
DNS サーバー	リモートサーバー管理ツール	
確認	12割目柱ソール DNSサーバー ツール	
結果		
	構成設定のエクスポート	
	代替ソースパスの指定	
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	インストール(I) キャンセル

- 10 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。
- 11 「サーバー マネージャー」の「ツール」メニューから「DNS」をクリックします。



DNS マネージャーが起動します。

12 ①「DNS マネージャー」の左枠のサーバー名(ここでは例として"UNITESERVER")の下の「前 方参照ゾーン」をクリックして展開します。②ドメイン名(ここでは例として"fjunite.local") を右クリックし、③「その他の新しいレコード」をクリックします。

アイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H)       ・ いいてを見たいを見たい       ・ いいてもののでののでののでののでののでののでののでののでののでののでののでののでのので	Ă		DNS マネージャー		
▲ 回     ▲ 回     ▲ 回     ▲ 回     ● □     ● □	ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	∧ルプ(H)			
CNS         名前         理類         データ         タイムスタンブ           ● UNITESERVER ● 面方を聴いここ。         (親フオルダーと同じ)         Start of Authority (S (親フオルダーと同じ)         [1]. uniteserver.flunite.local.         静的           ● 面方を聴いここ。         - 「「「 データ フイル の更新(U)         (親方オルダーと同じ)         Name Server (NS)         uniteserver.flunite.local.         静的           ● 面方を聴いて、         - 「「 データ フイルの更新(U)         - 「「 データ フイルの更新(U)         第読み込み(E)         第読か込み(E)         第的           ● 通行話を聴いことの         - 「「 データ フイルの更新(U)         - 「「 データ フイルの更新(U)         第読み込み(E)         第読か込み(E)         第の           ● 通行話を聴いことの         - 「「 データ フイルの更新(U)         - 「 「 データ         - 「 「 データ         - 「 「 データ           ● 通行話を聴いことの         - 「「 データ フアイルの更新(U)         - 「 「 データ         - 「 「 データ         - 「 「 データ           ● 通行話を聴いことの         - 「 「 データ フアイルの更新(U)         - 「 「 データ         - 「 「 データ         - 「 「 「 「 」           ● 「 たうえた ボイント ● 「 「 「 」 しかえチェンジャ (MX)(M) 新しいエイリアス (CNAME)(A) 新しいエイリアン「 「 「 」         - 「 「 「 「 」         - 「 「 「 」           ● 「 の たのタスク(K)         - 「 」 」         - 「 」 「 「 「 」 」         - 「 」 」           ● 「 「 「 「 「 」         - 「 」 」         - 「 」 」         - 「 」 」           ● 「 「 「 」 」         - 」 」         - 」 」         - 」 」           ● 「 「 」 「 」         - 」 」<	🗢 🔿 🙍 📰 🗶 🗐 🧕	B 🛛 🖬 📲 🗊			
< III プロパティ(R) ハルプ(H)	<ul> <li>▲ DNS</li> <li>■ UNITESERVER</li> <li>▶ (回) グローバルログ</li> <li>● 前方参照ソーン</li> <li>● 「」「msdcs.funite.lc</li> <li>◎ 「funite.lcal」</li> <li>▶ ○ 法引き参照ソーン</li> <li>▶ ○ 法引き参照ソーン</li> <li>▶ ○ 法引き参照ソーン</li> </ul>	名前 (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フェルダーと同じ) (親フェルダーと同じ) (親ンール (親ンール 新しいホスト (A または AAAA)(S) 新しいエイリアス (CNAME)(A) 新しいエイリアス (CNAME)(A) 新しいエイリアス (CNAME)(A) 新しいドメイン(O) 新しいドメイン(O) 新しい多年(G) その他の新しいレコード(C) DNSSEC(D) 孝へてのタスク(K) 表示(V) 削除(D) 最新の情報に更新(F) 一覧のエクスポート(L)	種類 Start of Authority (S Name Server (NS) Host (A)	データ [1], uniteserver.fjunite uniteserver.fjunite.local. 192.168.1.101	タイムスタンプ 静的 静的 静的
	< III	プロパティ(R) ヘルプ(H)			

13 「Service Location (SRV)」をクリックし、「レコードの作成」をクリックします。

リソース レコードの種類	×
リソース レコードの種類を選択( <u>S</u> ): Renamed Mailbox (MR) Route Through (RT) Service Location (SRV) Signature (SIG) Text (TXT)	<
説明: Service (SRV) レコード。管理者が単一の DNS ドメインで複数のサーバーを使 ったり、管理能力を保持したまま TCP/IP サービスを 1 つのホストから別のホストに 簡単に移動したり、サービス プロバイダー ホストをサービスのプライマリ サーバーとして 指定したり、またはほかのホストをバックアップとして指定したりすることができるようにな ります。SRV の種類のクエリを使う DNS ケライアントは、特定の DNS ドメインにマ ップされた、特定の TCP/IP サービスとプロトコルを要求し、利用できるすべてのサー パーの名前を取得します。(RFC 2052)	<
レコードの作成( <u>C</u> ) キャンセル	e

#### 14 次のように設定して「OK」をクリックします。

- サービス: \_uniteservice
- プロトコル∶\_tcp
- ポート番号:443
- このサービスを提供しているホスト: UniteServer.fjunite.local.("サーバー名"."ドメ イン名".)

	新しいリソース レコード エ
サービス ロケーション (	SRV)
ドメイン( <u>M</u> ):	fjunite.local
サービス( <u>S</u> ):	_uniteservice  v
לםליבווע( <u>פ</u> ):	_tcp  v
優先順位( <u>O</u> ):	0
重さ( <u>W</u> ):	0
ポート番号( <u>N</u> ):	443
このサービスを提供し	ているホスト( <u>H</u> ):
UniteServer.fjur	iite.local.
□ 同じ名前の DN: 前の DNS レコ-	5 レコードすべての更新を認証されたユーザーに許可する (新しい名 -ドのみに適用)( <u>U</u> )
	OK キャンセル ヘルプ

15 「リソース レコードの種類」画面で「完了」をクリックします。

- DHCP サーバーの設定
  - 1 【 (スタート) → 「管理ツール」の順にクリックし、「サーバー マネージャー」をダブルク リックします。
  - **2** 「役割と機能の追加」をクリックします。 「役割と機能の追加ウィザード(開始する前に)」が表示されます。
  - 3 「次へ」をクリックします。
  - **4** 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。
  - 5 「サーバープールからサーバーを選択」をクリックし、サーバープールの欄からサーバーをク リックし、「次へ」をクリックします。
  - ⑥ ① 「DHCP サーバー」をクリックし、「役割と機能の追加ウィザード」が表示されたら② 「機能の追加」をクリックし、③ 「サーバーの役割の選択」の画面で「次へ」をクリックします。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	
サーバーの役割の道	選択	対象サーバー UniteServer.fjunite.local
開始する前に インストールの種類 サーバーの違択 サーバーの役割 機能 DHCP サーバー 確認 結果	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。	32明 動的ホスト構成プロトコル (DHCP) サー バーを使用すると クライアント コンビュー ター用の一時的な IP アドレスおよび関連 情報を一元的に構成、管理、および提供 できます。
	<前へ(2) 次へ(2)	1) > インストール(I) キャンセル
<ul> <li></li></ul>	割と機能の追加ウィザード 必要な機能を追加しますか? のツールが必要ですが、同じサーバーにインストール ピツール ピワール CP サーバー ツール	
☑ 管理ツールを含める(	存在する場合)	



### 「DHCP サーバー」画面で「次へ」をクリックします。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_		x
DHCP サーバー	UniteSer	対象 ver.fjuni	ŧサ−/ te.loo	(– cal
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 DHCP サーバー 確認 結果	<ul> <li>動的ホスト構成プロトコル (DHCP) を使用すると、DHCP クライアント機能に対応したコンピューター 対してサーバーが IP アドレスを割り当て (リース) できます。DHCP サーバーをネットワーク上に展開す ターやその他の TCP/IP に基づくネットワーク デバイスに対し、有効な IP アドレスおよびそれらのデバ 追加構成パラメーターが提供されます (DHCP オプションと呼ばれる)。この構成パラメーターにより、コ イスは DNS サーバー、WINS サーバー、ルーターなど、他のネットワーク リソースに接続できます。</li> <li>注意事項:</li> <li>このコンピューター上に少なくとも 1 つの静的 IP アドレスを構成してください。</li> <li>DHCP サーバーをインストールする前に、使用するサブネット、スコープ、および除外についての計画 い。策定した計画の内容は、後で参照できるように安全な場所に保管しておいてください。</li> </ul>	およびデ ると、コン (スが必う ンピューク を立てて	バイスシン 要ショーと くださ	にに 
	<前へ( <u>P</u> ) (シストール(I)	<b>+</b> †	ッンセノ	L.

**9** 「インストール」をクリックすると、機能のインストールが始まります。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
インストール オプシ	ョンの確認	対象サーバー UniteServer.fjunite.local
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[	インストール] をクリックしてください。
インストールの種類	○ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する	
サーバーの選択	オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表え	示されている可能性があります。これ ゆフをオフにしてください
サーバーの役割		>X2/)/CUC(/22V%
機能	DHCP サーバー	
DHCP サーバー	リモート サーバー管理ツール 役割管理ツール	
確認	は B B E F ア ル DHCP サーバー ツール 構成設定のエクスポート 代替ソース バスの指定	
	<前へ(P) 次へ(N) >	インストール(I) キャンセル

- 10 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。
- 11 「サーバー マネージャー」の通知領域 (ウィンドウ右上)の「黄色い△の!マーク」をクリックし、表示されたポップアップの「展開後構成」にある「DHCP 構成を完了する」をクリックします。



「DHCP インストール後の構成ウィザード」が表示されます。

12 「次へ」をクリックします。

<b>a</b>	DHCP インストール後の構成ウィザード
説明	
<b>説明 承認</b> 要約	ターゲット コンピューター上の DHCP サーバーの構成を完了するために、次の手順が実行されます: DHCP サーバー管理の委任用に、次のセキュリティ グループを作成します。 - DHCP Administrators - DHCP Users ターゲット コンピューター上の DHCP サーバーを承認します (ドメイン参加の場合)。
	<前へ(P) 本へ(N) こ ミット キャンセル

## 13 「コミット」をクリックします。

à	DHCP インストール後の構成ウィザード	-		x
► 承認 <sup>説明</sup> 要約	DHCP インストール後の構成ウィザード         AD DS のごの DHCP サーバーを承認するための資格情報を指定します。         ● 以下のユーザーの資格情報を使用する(U)         ユーザー名:       FJUNITE¥Administrator         ○ 代替資格情報を使用する(S)         ユーザー名:       指定(E)         ○ AD 承認をスキップする(K)			x
	<前へ( <u>N</u> ) > コミット	¶±	2	Ŀ

#### 14 「閉じる」をクリックします。

<u></u>	DHCP インストール後の構成ウィザード	
要約		
説明 承認 <b>要約</b>	インストール後の構成手順の状態が下に示されます: セキュリティ グループの作成	
	<前へ(P) 次へ(N) > 閉じる キャンセル	

サーバー マネージャーの「ツール」→「DHCP」の順にクリックします。



**16** ①左枠のサーバー名(ここでは例として"uniteserver.fjunite.local")をクリックして展開し、 ②その下の「IPv4」を右クリックし、③「新しいスコープ」をクリックします。



「新しいスコープ ウィザードの開始」が表示されます。

#### 17 「次へ」をクリックします。

新しいスコープ ウィザード				
	新しいスコープ ウィザードの開始 このウィザードを使うと、ネットワーク上のコンピューターに IP アドレスを割り 当てるためのスコープを設定することができます。 続行するには、[次へ] をクリックしてください。			
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル			

**18** 「名前」と「説明」を任意に設定(この例では"UniteDHCP"と"Scope for Unite")し、「次 へ」をクリックします。

	新しいスコープ ウィザード
<b>スコープ名</b> 識別するためのス	コープ名を指定する必要があります。説明も追加することができます。
このスコープの名 のように使用され	前と説明を入力してください。この情報を入力することで、ネットワークでこのスコープがど いるかをすばやく判断することができます。
名前( <u>A</u> ):	UniteDHCP
説明( <u>D</u> ):	Scope for Unite
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル

19 IP アドレスの範囲を設定し、「次へ」をクリックします。

(この例では以下のように設定)

- 開始 IP アドレス: 192.168.1.11
- 終了 IP アドレス: 192.168.1.100
- 長さ:24
- サブネット:255.255.255.0

新しいスコープ ウィザード
IP アドレスの範囲 連続した IP アドレスのセットを識別して、スコープ アドレスの範囲を定義します。
DHCP サーバーの構成設定 スコープが割り当てるアドレスの範囲を指定してください。 開始 IP アドレス(S): 192 168 1 10
#     IP アトレス(E):     102 + 100       DHCP クライアンNに伝達する構成設定     24 -
母< <ul> <li>∀ブネットマスク(U):</li> <li>255 . 255 . 0</li> </ul>
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

20 必要に応じて除外範囲を設定(この例では未設定)し、「次へ」をクリックします。

新しいスコープ ウィザード	
除外と遅延の追加 除外とは、サーバーから割り当てられないアドレスまたはアドレスの範囲のことです。遅延とは、サーバーが DHCPOFFER メッセージの送信を遅延させる時間のことです。	Ņ
除外する IP アドレスの範囲を入力してください。特定のアドレスのみを除外する場合は [開始 IP アドレ ス] のみ指定してください。	
開始 IP アドレス(S): 終了 IP アドレス(E):	
除外するアドレスの範囲( <u>C</u> ):	
< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル	

21 必要に応じてリース期間を変更(この例では未変更)し、「次へ」をクリックします。

新しいスコープ ウィザード	
<b>リース期間</b> リース期間は、クライアントがこのスコープからの IP アドレスをどのくらいの期間使用できるかを示します。	
リース期間は、通常コンピューターが物理的に同じネットワークに接続している時間の平均です。ポータブ ル コンピューターやダイヤルアップを主体とするモバイル ネットワークの場合は、リース期間を短くすると便 利です。 同様に、固定された場所で使用されているデスクトップ コンピューターを主体とする固定ネットワークの場 合は、リース期間を長くすることをお勧めします。	
このサーバーから割り当てられたときのスコープのリース期間を設定してください。	
期間:	
日( <u>D</u> ): 時間( <u>O</u> ): <u> 時間(O</u> ): 分( <u>M</u> ): <u> り</u> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル	]

22 「今すぐオプションを構成する」をクリックし、「次へ」をクリックします。



23 必要に応じて使用しているルーターの IP アドレスを設定(この例では未設定)し、「次へ」を クリックします。

新しいスコープ ウィザード				
<b>ルーター (デフォルト ゲートウェイ)</b> このスコープが割り当てるルーターまたはデフォルトゲートウェイを指定することができます。				
クライアントが使用するルーター( IP アドレス( <u>P</u> ):	の IP アドレスを追加するには、そのアドレスを下に入力してください。			
	追加(D)			
	削除(民)			
	上へ(山)			
	下へ( <u>0</u> )			
	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル			

#### 24 次の設定を行い、「次へ」をクリックします。

- 親ドメイン: P.17 手順 12 で入力した「ルートドメイン名」(この例では fjunite.local)
- サーバー名: P.6 手順5で入力した「コンピューター名」(この例では UniteServer)
- IP アドレス: P.7 手順4で入力した「IP アドレス」(この例では 192.168.1.101 (設定 済みであれば、そのままにする。))

新しいスコープ ウィザード					
ドメイン名および DNS サーバー ドメイン ネーム システム (DNS) は、ネットワーク上のクライアントが使用するドメイン名のマップや翻訳を行 います。					
ネットワーク上のクライアント コンピューターが DNS 名の解決のために使う親ドメインを指定することができます。					
親ドメイン( <u>M</u> ): <mark>「junite.local</mark>					
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー					
サーバー名( <u>S</u> ):		IP アドレス( <u>P</u> ):			
UniteServer			追加( <u>D</u> )		
	解決( <u>E</u> )	192.168.1.101	削除( <u>R</u> )		
			上へ(山)		
			下へ(0)		
		< 戻る( <u>B</u> ) 次へ(	<u>N</u> ) > キャンセル		

25 必要に応じて設定(この例では未設定)を行い、「次へ」をクリックします。

新しいスコープ ウィザード					
WINS サーバー Windows を実行しているコンピューターは、WINS サーバーを使って NetBIOS コンピューター名を IP ア ドレスに変換することができます。					
ここにサーバー IP アドレスを入力すると、Windows クライアントはブロードキャストを使って登録し NetBIOS 名を解決する前に WINS を照会できるようになります。					
サーバー名( <u>S</u> ):	IP アドレス( <u>P</u> ):				
	追加(D)				
解決(E)	削除(R)				
	上へ(山)				
	( <u>0</u> ), 국				
Windows DHCP クライアントの動作を変更するには、[スコープ オプション] でオプション 046 とWINS/NBT ノードの種類を変更してください。					
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル				

26 「今すぐアクティブにする」をクリックし、「次へ」をクリックします。

新しいスコープ ウィザード		
スコープのアクティブ化 クライアントは、スコープがアクティブになっている場合のみ、アドレス リースを取得できます。		
このスコープを今すぐアクティブにしますか? ・ 今すぐアクティブにする( <u>い</u> ) で 後でアクティブにする( <u>0</u> )		
< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル		

「新しいスコープ ウィザードの完了」と表示されます。

## 27 「完了」をクリックします。

新しいスコープ ウイザード				
	新しいスコープ ウィザードの完了			
	新しいスコープ ウィザードが完了しました。			
	このスコープに対して高可用性を提供するには、スコープを右クリックし、[フ ェールオーバーの構成] をクリックして、新しく追加されたスコープにフェール オーバーを構成します。 このウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。			
	< 戻る( <u>B</u> ) 完了 キャンセル			

- 証明機関を設定する
  - 1 【 (スタート)→「管理ツール」の順にクリックし、「サーバー マネージャー」をダブルク リックします。
  - **2** 「役割と機能の追加」をクリックします。 「役割と機能の追加ウィザード(開始する前に)」が表示されます。
  - 3 「次へ」をクリックします。
  - **4** 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。
  - **5** 「サーバープールからサーバーを選択」をクリックし、サーバープールの欄からサーバーをク リックし、「次へ」をクリックします。
  - 6 ①「Active Directory 証明書サービス」をクリックし、「役割と機能の追加ウィザード」が表示 されたら②「機能の追加」をクリックし、③「サーバーの役割の選択」画面で「次へ」をクリ ックします。

<b>b</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b></b>		
サーバーの役割の選	択	対象サーバー UniteServer.fjunite.local		
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの登割 機能 AD CS 役割サービス 確認 結果	選択したサーバーにインストールする役割を1つ以上選択します。 役割 Active Directory Federation Services Active Directory Rights Management サービス Active Directory ドメイン サービス (インストール済み) Active Directory 証明書サービス ✓ Active Directory 証明書サービス ✓ Active Directory 証明書サービス ✓ Active Directory 証明書サービス ✓ DHCP サーバー (インストール済み) DNS サーバー (インストール済み) FAX サーバー Hyper-V Windows Server Essentials エクスペリエンス Windows Server Update Services Windows 展開サービス ✓ III → V	説明 Active Directory 証明書サービス (AD CS) は、さまざまなアプリケーションで 使用する証明書を発行されび管理するた めの、証明機関および関連する役割サー どえを作成するために使用します。		
<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > インストール( <u>I</u> ) キャンセル				
<ul> <li>         役割と機能の     </li> <li>         Active Directory 証明書りますか?         この機能を管理するには次のツールが、 する必要はありません。     </li> <li>         リモートサーバー管理ツール         ④ 役割管理ツール         ④ 役割管理ツール         ▲ Active Directory 証明 [ツール] 証明機関係     </li> </ul>	Di追加ウィザード ナービス に必要な機能を追加し 必要ですが、同じサーバーにインストール 引書サービス ツール 弾理ツール			
✓ 管理ツールを含める (存在する場合)	<ul> <li></li></ul>			
<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>□</b> ×		
--	--	---		
(MARCHINE) (MARCH	選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 機能 ■ <u>NET Framework 3.5 Features (1/3 個をインスト</u> ● ■ .NET Framework 4.5 Features (4/7 個をインスト ● BitLocker ドライブ暗号化 ■ BitLocker ドライブ暗号化 ■ BitLocker ネットワーク ロック解除 ■ BranchCache ■ Direct Play ■ HTTP プロキシを経由した RPC ■ IIS ホスト可能な Web コア ■ IP アドレス管理 (IPAM) サーバー ■ ISNS サーバー サービス ■ LPR ポート モニター	対象サーバー UniteServer.fjunite.local 説明 .NET Framework 3.5 は、魅力的な ユーザー インターフェイスや、ユーザーの個 人情報の保護、シームレスで安全な通 信、幅広いビジネスプロセスをモデリングす る機能を提供するアプリケーションを構築 できる新しいデックノロジと、.NET Framework 2.0 API の強力な機能と を組み合わせます。		
	Management OData IIS 拡張機能 NFS クライアント RAS 接続マネージャー管理キット (CMAK) < Ⅲ > < Ⅲ > < Ⅲ >	) > インストール(I) <b>キャンセル</b>		

# 8 「Active Directory 証明書サービス」画面で「次へ」をクリックします。

2	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 X
Active Director          開始する前に         インストールの種類         サーバーの選択         サーバーの役割         機能         AD CS	<ul> <li>役割と機能の追加ウィザード</li> <li>y 証明書サービス (AD CS) は、安全なワイヤレス ネットワーク、仮想、 ターネット プロトコル セキュリティ (IPSec)、ネットワーク アクセス保護 (NAP)、暗号化ファ トカード ログオンなどのシナリオを実現するための証明書基盤を提供します。</li> <li>注意事項:</li> <li>このコンピューターの名前およびドメイン設定は、証明機関 (CA) のインストール後は変 名の変更、ドメインの追加、またはこのサーバーのドメイン コントローラーへの昇格を行うな にこれらの変更を完了する必要があります。詳細については、証明機関の名前付けを参</li> </ul>	メ 対象サーバー UniteServer.fjunite.local プライベート ネットワーク、イン イル システム (EFS)、スマー 更できません。コンピューター 場合、CA のインストール前 際限してください。
役割サービス 確認		
結果		
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > イン	ストール(I) <b>キャンセル</b>

9 ①「証明機関」と「証明機関 Web 登録」をクリックし、「役割と機能の追加ウィザード」が表示されたら②「機能の追加」をクリックし、③「役割サービスの選択」画面で「次へ」をクリックします。

Ē.	役割と機能の追加ウィザード	_ <b>D</b> X
役割サービスの選手 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 AD CS	尺 Active Directory 証明書サービス のインストールする役割 役割サービス ② 証明機関 □ オンライン レスポンダー □ ネットワーク デバイス登録サービス ○ 証明機関 Web 登録 □ 証明典の登録 Web サービス	<sup>対象サーバー</sup> UniteServer.fjunite.local サービスを選択します <b>説明</b> 証明機関 Web 登録は、証明書の要求 や更新、証明書失効リスト (CRL) の取 得。スマート カード証明書の登録のため の単純な Web インターフェイスを提供し ます。
在 破認 結果	証明書の登録ポリシー Web サービス	3
	<前へ( <u>P</u> )	次へ(N) > インストール(I) キャンセル
こころ ひまん ひまん ひまん しん ひまん しん ひまん しん ひょうしん ひょう ひょうしん ひょう	の追加ウィザード	
証明機関 Web 登録 に必う 証明機関 Web 登録をんストール	要な機能を追加しますか? する前に、次の役割サービスまたは機能	
もインストールする必要があります。 ▲ Web サーバー (IIS) ▲ Web サーバー ▲ HTTP 共通機能 HTTP リダイレクト ▲ 状態と診断 ログ ツール 要求の監視 トレース ▲ アプリケーション開発 [又] 管理ツールを含める (存在する)		
▲ PLTA WEDMA (LITAD)	2 機能の追加 キャンセル	

10 「インストール」をクリックすると、機能のインストールが始まります。

<b>a</b>	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 X
インストール オプシ		対象サーバー JniteServer.fjunite.local
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割	確死したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストール9 るには、【インストー □ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されてい らのオプションの機能をインストールしない場合は、【前へ】をクリックして、チェック ポックスをオフ	ル」 をクリックしてくたさい。 
機能 AD CS 役割サービス 確認 結果	Active Directory 証明書サービス 証明機関 証明機関 Web 登録 Web サーバー (IIS) 管理ツール IIS 6 管理互換 IIS 6 常理互換 Web サーバー アプリケーション開発 ASP HTTP 共通機能	
	HTTP リダイレクト 構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定 < 前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > (1ンスト	、 →_ル(I) キャンセル

インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

11 「サーバー マネージャー」の通知領域(ウィンドウ右上)の「黄色い△の!マーク」をクリックし、表示されたポップアップの「展開後構成」にある「対象サーバーに Active Directory 証明書サービスを構成する」をクリックします。



12 「AD CS の構成(資格情報)」画面で「次へ」をクリックします。

<b>a</b>	AD CS の構成
資格情報	対象サーバー UniteServer.fjunite.local
<ul> <li>資格情報</li> <li>役割サービス</li> <li>確認</li> <li>進行状況</li> <li>結果</li> </ul>	役割サービスを構成するための証明書を指定してください 次の役割サービスを休入トールするには、ローカルの Administrators グループに属している必要があります: ・ スタンドアロン証明機関 ・ 証明機関 Web 登録 ・ オンラインレスポンダー 次の役割サービスをインストールするには、Enterprise Admins グループに属している必要があります: ・ エンタープライズ証明機関 ・ 証明書の登録ポリシー Web サービス ・ 証明書の登録 Web サービス ・ 証明書の登録 Web サービス ・ 証明書の登録 Web サービス ・ 近明書の登録 Web サービス ・ 近明書の登録 Web サービス
	AD CS サーバーの役割の詳細
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 構成( <u>C</u> ) キャンセル

13 「証明機関」と「証明機関 Web 登録」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

B	AD CS の構成	_ <b>D</b> X
役割サービス		対象サーバー UniteServer.fjunite.local
資格情報 <b>役割サービス</b> セットアップの種類 CA の種類 秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果	構成する役割サービスの選択 <ul> <li>「証明機関</li> <li>「証明機関 Web 登録</li> <li>オンライン レスボンター</li> <li>ネットワーク デバイス登録サービス</li> <li>一 証明書の登録 Web サービス</li> <li>一 証明書の登録ポリシー Web サービス</li> </ul>	
	AD CS サーバーの役割の詳細	
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	構成( <u>C</u> ) キャンセル

14 「エンタープライズ CA」をクリックし、「次へ」をクリックします。

<b>B</b>	AD CS の構成	×
セットアップの種類	対象サーバー UniteServer.fjunite.local	
資格情報 役割サービス セットアップの種類 CA の種類 秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 若果	CA のセットアップの種類を指定してください エンタープライズ証明機関 (CA) は、Active Directory ドメイン サービス (AD DS) を使用して証明書の管理を簡略化できます。スタンドアロン CA では、AD DS を使用して証明書を発行または管理することはありません。 ● エンタープライズ CA(E) エンタープライズ CA はドメイン メンバーである必要があり、証明書または証明書ポリシーを発行するために通常はオンラインです。 ○ スタンドアロン CA(A) スタンドアロン CA(A) スタンドアロン CA はワークグループまたはドメインのメンバーとなることができます。スタンドアロン CA は AD DS を必要とせず、ネットワーク接続なし (オフライン) で使用できます。	
	セットアップの種類の詳細	
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 構成( <u>C</u> ) <b>キャンセル</b>	]

「ルート CA」をクリックし、「次へ」をクリックします。

<b>B</b>	AD CS の構成	
CA の種類	対象サーバー UniteServer.fjunite.local	
資格情報 役割サービス セットアップの種類 <b>CA の種類</b> 秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果	CA の種類を指定してください Active Directory 証明書サービス (AD CS) をインストールする場合は、公開キー基盤 (PKI) 階層を作成 または拡張します。ルート CA は、PKI 階層の最上位に位置し、自身の自己署名証明書を発行します。下位 CA は、PKI 階層内の上位の CA から証明書を受け取ります。 ・ ・ ルート CA(R) ルート CA(k, PKI 階層で構成される最初の、また場合によっては唯一の CA です。 ・ 下位 CA(u) 下位 CA(u) 下位 CA(u, 確立された PKI 階層を必要とし、階層内の上位の CA によって証明書の発行を許可されま す。	
	CA の種類の詳細	
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 構成( <u>C</u> ) キャンセル	

16 「新しい秘密キーを作成する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

<u></u>	AD CS の構成
秘密キー	対象サーバー UniteServer.fjunite.local
資格情報 役割サービス セットアップの種類 CA の種類 秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース	<ul> <li>秘密キーの種類を指定してください</li> <li>証明書を生成してクライアントに発行するには、証明機関(CA)に秘密キーが必要です。</li> <li>● 新しい秘密キーを作成する(R)</li> <li>秘密キーがない場合、または新しい秘密キーを作成する場合は、このオプションを使用します。</li> <li>○ 既存の秘密キーを使用する(U)</li> <li>CA の再インストール時に、以前に発行された証明書との連続性を確保する場合は、このオプションを使用します。</li> <li>○ 証明書を選択し、関連付けられている秘密キーを使用する(C)</li> <li>このコンピューターに既存の証明書がある場合、または証明書をインポートしてそれに関連付けられている</li> </ul>
馆邸 進行状況 結果	
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 構成( <u>C</u> ) キャンセル

17 「SHA256」をクリックし、「次へ」をクリックします。

CA の暗号化		対象サーバー UniteServer.fjunite.local
資格情報 役割サービス セットアップの種類 この種類 秘密キー <b>暗号化</b> CA名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況	暗号化オプションを指定してください 暗号化プロバイダーの選択(C): RSA#Microsoft Software Key Storage Provider   CO CA から発行された証明書の署名に使用する/いッシュ アルコリズムを選択 SHA256 SHA384 SHA512 SHA1 MD5 CA が秘密キーにアクセスするときに、管理者による操作を許可する。(A)	‡-長( <u>K</u> ): 2048 ▼ ( <u>H</u> ):
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	構成(C) キャンセル

18 「この CA の共通名」を確認し、「次へ」をクリックします。

<b>B</b>	AD CS の構成	_ 🗆 X
CA の名前	UniteSe	対象サーバー erver.fjunite.local
資格情報 役割サービス セットアップの種類 CA の種類 秘密キー 暗号化 CA 名 有効期間 証明書データベース 確認 進行状況 結果	CA の名前を指定してください この証明機関 (CA) を識別する共通名を入力します。この名前は、CA で発行されるすべれます。識別名のサフィックスは自動的に生成されますが、変更できます。 この CA の共通名(C): 「funite-UNITESERVER-CA 識別名のサフィックス(D): DC=fjunite,DC=local 識別名のプレビュー(V): CN=fjunite-UNITESERVER-CA,DC=fjunite,DC=local	5ての証明書に付加さ
	<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > 構成(	<u> </u>

# 19 「次へ」をクリックします。

à	AD CS の構成	_ <b>D</b> X
有効期間	UniteServe	対象サーバー r.fjunite.local
資格情報 役割サービス セットアップの種類	有効期間を指定してください この証明機関 (CA) に対して生成される証明書の有効期間を選択(V):	
CA の種類 秘密キー	5 年間 ▼ CA の有効期限: 2021/09/28 20:11:00	
暗号化 CA 名 有効期間	この CA 証明書に対して構成する有効期間は、その CA が発行する証明書の有効期間を超 ります。	えている必要があ
17,20,961日 証明書データベース 確認		
進行状況 結果		
	有効期間の詳細	
	<前へ(P) 次へ(N) > 構成(C)	キャンセル

20	「次へ」 をクリック	します。	
	<b>b</b>	AD CS の構成	_ <b>□</b> ×
	CA データベース		対象サーバー UniteServer.fjunite.local
	資格情報 役割サービス	データベースの場所を指定してください	
	セットアップの種類	証明書データベースの場所( <u>C</u> ): C:¥Windows¥system32¥CertLog	
	CA の裡類 秘密キー	証明書データベース ログの場所( <u>E</u> ):	-
	暗号化	C:¥Windows¥system32¥CertLog	
	CA 名 有効期間		
	証明書データベース		
	確認		
	進行状況		
	19.50		
		CA テータベースの詳細	
		<前へ( <u>P</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	構成( <u>C</u> ) <b>キャンセル</b>

# 21 「構成」をクリックします。

<b>B</b>	AD CS	の構成	_		x
▶      確認     道行状況     進行状況     進行状況     指果	<ul> <li>次の役割、役割サービス、または機能</li> <li>Active Directory 証明書!</li> <li>証明機関</li> <li>CA の種類:</li> <li>暗号化プロバイダー:</li> <li>パッシュ アルゴリズム:</li> <li>キー長:</li> <li>管理者による対話操作を許可する:</li> <li>証明書の有効期間:</li> <li>識別名:</li> <li>証明書データベースの場所:</li> <li>証明書データベース ログの場所:</li> <li>証明機関 Web 登録</li> </ul>	の構成 UniteServer Eを構成するには、[構成] をクリックします。 オービス エンタープライズ ルート RSA#Microsoft Software Key Storage Provide SHA256 2048 無効 2021/09/28 20:11:00 CN=fjunite-UNITESERVER-CA,DC=fjunite,DC C:¥Windows¥system32¥CertLog C:¥Windows¥system32¥CertLog	中 対象 :fjuni r	ロ 続サーノ te.lo	x I("- cal
	n∏rhjtælet m.cn <del>X</del> 7¥	<前へ( <u>P)</u> 次へ(N) > 構成( <u>C</u> )	=	ヤンセノ	۱Ŀ

22	「閉じる」をクリックします。	
	- B	AD CS の構成

結果		対象サ UniteServer.fjunite.	ーバー local
資格情報 役割サービス	次の役割、役割サービス、または へ Active Directory 証明	戦能が構成されました: <b>身サービス</b>	
セットアップの種類 CA の種類	<b>証明機関</b> CA 構成の詳細	✓ 構成に成功しました	
1002年- 暗号化 CA 名	証明機関 Web 登録 Web 登録の構成の詳細	✔ 構成に成功しました	
有 201 月			
進行状況 結果			
		< 前へ(P) 次へ(N) > 閉じる キャン	セル

\_ **D** X

- Microsoft インターネット インフォメーション サービス (IIS) を構成する
- 1 【 (スタート) → 「管理ツール」の順にクリックし、「インターネット インフォメーション サ ービス (IIS) マネージャー」をクリックします。

🖄 I 🗋 🗊 = I	管理ツール			_ <b>D</b> ×	٢
ファイル ホーム 共有 表示				Ŷ	0
💿 💿 = 🛧 🗟 א באדע-ע געא	ル ▶ システムとセキュリティ ▶ 管理ツール	~ C	管理ツールの検索	م ر	
⊿ 👉 お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ	^
	<ul> <li>NS</li> <li>ISCSI イニシエーター</li> <li>ODBC データ ソース (32 ビット)</li> <li>ODBC データ ソース (64 ビット)</li> <li>Windows PowerShell (x86)</li> <li>Windows PowerShell ISE (x86)</li> <li>Windows PowerShell ISE</li> <li>Windows PowerShell 用の Active Directory モジュール</li> <li>Windows Server バックアップ</li> <li>Windows メモリ診断</li> <li>イベント ビューアー</li> <li>インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー</li> </ul>	2013/08/22 15:55 2013/08/22 15:57 2013/08/22 8:56 2013/08/22 15:59 2013/08/22 15:59 2013/08/22 15:55 2013/08/22 15:55 2013/08/22 15:55 2013/08/22 15:53 2013/08/22 15:55 2013/08/22 15:55 2013/08/22 15:55	ショートカット       ショートカット	2 KB 2 KB 2 KB 3 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2	
<ul> <li>▶ ■ リムーノ(ブル ディスク (D:)</li> <li>▶ ■ ネットワーク</li> </ul>	<ul> <li>ぶ グループ ポリシーの管理</li> <li>マンピューターの管理</li> <li>マンポーネント サービス</li> <li>サーバー マネージャー</li> <li>サービス</li> <li>システム構成</li> <li>システム情報</li> <li>システム情報</li> <li>マ セキュリティが強化された Windows ファイアウォール</li> <li>マ セキュリティの構成ウィザード</li> <li>タスク スケジューラ</li> </ul>	2013/08/22 15:56 2013/08/22 15:54 2013/08/22 15:57 2013/08/22 15:55 2013/08/22 15:54 2013/08/22 15:53 2013/08/22 15:53 2013/08/22 15:45 2013/08/22 15:55	ショートカット ショートカット ショートカット ショートカット ショートカット ショートカット ショートカット ショートカット ショートカット ショートカット	2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB 2 KB	~
35 個の項目				833	

2 左側の「接続」パネルのサーバー名(ここでは例として"UNITESERVER")をクリックし、「サ ーバー証明書」をダブルクリックします。

<b>V</b> j	インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー	_ <b>□</b> X
€ UNITESERVER →		🐱 🗠 🔞 🕡 •
ファイル(E) 表示(⊻) ヘルプ( <u>H</u> )		
接続 ・ : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	VINITESERVER ホーム     VINITESERVER     VINITESERVERVER     VINITESERVERVERVERVERVERVERVERVERVERVERVERVERVE	操作       機能を開く       サーバーの管理       再起動       開始       ● 停止       アプリケーション ブールの表示       サイトの表示       サイトの表示       ウイトの表示       ・NET Framework パージョンの 変更       ● 新しい Web Platform コンボー ネントの取得       ・
準備完了		€ <u>1</u> .:

• 次の画面が表示された場合は「キャンセル」をクリックします。

インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー
最新の Web Platform コンポーネントとの接続を維持するため、Microsoft Web Platform の使用を開始しますか?
□ このメッセージを表示しません。
はい いいえ キャンセル

3 右側の「操作」パネルの「ドメイン証明書の作成」をクリックします。

<b>9</b>	インダ	ターネット インフォメーション サー	ビス (IIS) マネージャー		_ <b>D</b> X
€ UNITESERVER →					😐 🖂 🔞 •
ファイル(E) 表示(⊻) ヘルプ( <u>H</u> )					
	サーバー証明書         SSL に対して構成された Web サイ         フバルター:         名前	トで Web サーバーが使用できる証明 ・ 愛 検索(⊆) - (三) すべて表示(A 発行先 fjunite-UNITESERVER-CA	書を要求および管理するには、この機能 グループ化: グループ化なし 発行元 fjunite-UNITESERVER-CA	Éを使用します。 ■ ■ ■ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日本         インボート         証明書の要求の売了         ドメイン証明書の作成         日ご署名入り証明書の作成         更新され正確明書の自動的な再パインドを 不知にする         マ ヘルプ
準備完了					¶1.:

4 「一般名」("サーバー名"."ドメイン名"。この例では、"UniteServer.fjunite.local")、「組織」、「組織単位」、「市区町村」、「都道府県」、「国/地域」を適切に設定し、「次へ」をクリックします。

	証明書の作成 ? ×
識別名プロパティ	
証明書に必要な情報を指定します。 使用しないでください。	都道府県および市区町村に関する情報は、公式名称を指定してください。省略形は
一般名( <u>M</u> ):	UniteServer.fjunite.local
組織( <u>O</u> ):	Fujitsu
組織単位 (OU)( <u>U</u> ):	Corporation
市区町村( <u>L</u> )	Kawasaki
都道府県( <u>S</u> ):	Kanagawa
国/地域( <u>R</u> ):	×
	前に戻る(P) 次へ(N) 終了(E) キャンセル

5 ①「オンライン証明機関の指定」欄の右の「選択」をクリックし、②「証明機関を設定する」の手順18(→P.42)で確認したCA名の証明機関をクリックし、③「OK」をクリックします。
 ④「オンライン証明機関」画面で「フレンドリ名」にこの証明書を識別するための名称(ここでは例として"Unite証明書")を任意で設定し、⑤「終了」をクリックします。

	証明書の作成	? X
オンライン証明機関		
ドメイン内で証明書に署名する証明機関を指定し オンライン証明機関の指定( <u>O</u> ): [fjunite-UNITESERVER-CA¥UniteServer.f 例: CertificateAuthorityName¥ServerNa フレンドリ名(Y): [Unite証明書]	ょます。フレンドリ名が必要です。覚えやすい名前にして junite.local me ④	:〈ださい。 選択… ①
	前に戻る(P) 次へ(N) 料	5 を ア (E)  キャンセル
	証明機関の選択	? X
	証明機関の選択	? <mark>x</mark>
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ):	証明機関の選択	? X
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? ×
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? x
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? x
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? ×
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? ×
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? ×
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? ×
使用する証明機関を選択してください(S): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? ×
使用する証明機関を選択してください( <u>S</u> ): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? X
使用する証明機関を選択してください(S): 証明機関 fjunite-UNITESERVER-CA	証明機関の選択 コンピューター UniteServer.fjunite.local	? X

⑥ ①左側の「接続」パネルにあるサーバー名(ここでは例として "UNITESERVER")の下の「サ イト」をクリックして展開し、②「Default Web Site」をクリックし、③右側の「操作」パネ ルから「バインド」をクリックします。



#### / 「追加」をクリックします。

			サイトノ	バインド	? X
種類 http	ホスト名	ポート 80	IP アドレス *	バインド情報	<b>追加(<u>A</u>)</b> 編集( <u>E</u> ) 削除( <u>R</u> ) 参照( <u>B</u> )
					閉じる( <u>C</u> )

8 次の内容を設定し、「OK」をクリックします。

- 種類:https
- IP アドレス:未使用 IP のすべて
- ポート:443
- ホスト名: (空欄のまま)
- SSL 証明書: Unite 証明書 (P.47 手順 5 でフレンドリ名として設定したものを指定)

	サイト バインド	の追加	0		?	x
種類( <u>T</u> ): IP https ✓ オ	<sup>9</sup> アドレス( <u>I</u> ): F使用の IP アドレスすべて		<u>ポート(O</u> ): ✓ 443	]		
ホスト名(旦):						
□ サーバー名表示を要求す	'ଶ( <u>N</u> )					
SSL 証明書( <u>F</u> ): Unite証明書		<b>~</b> [	選択( <u>L</u> )	表示	₹(⊻)	
			ОК	±1	ァンセル	,

9 「サイト バインド」画面の「閉じる」をクリックします。

● SQL Server のインストール

Microsoft SQL Server (2008 R2 以降)をインストールします (この例では 2014 を使用)。

- 1 セットアップを実行し、「SQL Server インストール センター」をクリックします。
- 2 左側の「インストール」をクリックし、「SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加します」をクリックします。



- 3 画面の指示に従って、「プロダクトキー」の入力と「ライセンス条項」に同意し、Windows Updateの確認の設定を行い、インストールを継続します。
- **4** 「SQL Server 機能のインストール」をクリックし、「次へ」をクリックします。



5 「データベース エンジン サービス」と「管理ツール-完全」をクリックし、「次へ」をクリックします。

1	SQL Server 2014 セットアッフ	f _ 🗆 🗙
機能の選択 インストールする Developer 機能 プロダクト キー ライセンス条項 グローバル ルール Microsoft Update セットアップ ファイルのインストール インストール ルール セットアップ ロール	SQL Server 2014 セットアップ           認識択します。           機能(E):           グデータペースエンジン サービス <ul> <li>SQL Server レブリケーション <li>検索のためのフルテキスト抽出とセマンティック抽出 <li>Data Quality Services <ul> <li>Analysis Services</li> <li>Reporting Services - ネイティブ</li> </ul></li></li></li></ul>	横能の説明:     SQL Server インスタンスのインスタンス機能は、構 ^     成と操作が、他の SQL Server インスタンスとは     分離されています。 SQL Server の寝数のインスタ     ンスを、同じコンピューターでサイド バイ サイドで操     作できます。
機能の選択 機能リール インスタンスの構成 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 機能構成リール インストールの進行状況 完了		選択した機能に必要なコンポーネント(P): インストール済み: Wicrosoft .NET Framework 3.5 Microsoft Visual Studio 2010 再頒布可能 Microsoft Visual Studio 2010 Shell ✓ ✓ 必要なディスク領域(D) ドライブ C: 2232 MB 必要、231768 MB 使用 「 デライブ C: 2232 MB 必要、231768 MB 使用 ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓
	すべて選択(A)     すべて選択解除(U)       インスタンス ルート ディレクトリ(R):     C:¥Program F       共有機能ディレクトリ(S):     C:¥Program F       共有機能ディレクトリ(x86)(X):     C:¥Program F	Files¥Microsoft SQL Server¥ Files¥Microsoft SQL Server¥ Files (x86)¥Microsoft SQL Server¥
	< 戻る(	<u>B)</u> 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

6 「既定のインスタンス」をクリックし、「次へ」をクリックします。

1	SQL	Server 2014 セ	ットアップ		_ <b>D</b> X
インスタンスの構成 SQL Server インスタンスの名前 プロダクトキー	およびインスタンス ID を指定し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ます。インスタンス ID	よ、インストール パスの一	部になります。	
ライセンス条項 グローバル ルール	<ul> <li>Añ(きインスタンス(A)</li> </ul>	MSSQLSERVER			
Microsoft Update セットアップ ファイルのインストール インストール ルール セットアップ ロール 機能の選択 機能ルール インスタンスの構成 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	インスタンス ID( <u>I</u> ):	MSSQLSERVER			
	SQL Server ディレクトリ: インストール済みのインスタン	C:¥Program File ス( <u>L</u> ):	es¥Microsoft SQL Se	rver¥MSSQL12.MSSQL	.SERVER
	1>スタ>ス名 1	/ンスタンス ID	機能	エディション	< <u>₹₩</u>
			< 戻る( <u>B</u> ) 次へ	.( <u>N</u> ) > キャンセル	へルプ

## 7 「次へ」をクリックします。

1	SQL Server 20	)14 セットアップ		_ <b>_</b> ×
サーバーの構成 サービス アカウントと照合順序の構	成を指定します。			
プロダクト キー ライセンス条項 グローバル ルール	サービス アカウント 照合順序 各 SQL Server サービスに別々のアカ	ウントを使用することをお勧めしま	र् <u>र (M</u> )	
Microsoft Update セットアップ ファイルのインストール	サービス SQL Server エージェント SQL Server データベース エンジン	アカウント名 NT Service¥SQLSERV NT Service¥MSSQLSE	パスワード	スタートアップの種類       手動       目動
セットアップ ロール 機能の選択 機能ルール	SQL Server Browser	NT AUTHORITY¥LOC		無効
インスタンスの構成 <b>サーバーの構成</b> データベース エンジンの構成				
機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了				
		< 戻る( <u>B</u> ) 次へ(	<u>[N</u> ) >‡1	

8 ①「混合モード」をクリックし、②SQL Server のシステム管理者アカウントのパスワードを設定し、③「現在のユーザーの追加」をクリックしたあと管理者を設定し、④最後に「次へ」をクリックします。

1	SQL Server 2014 セットアップ			x
データベース エンジンの構	成			
データベース エンジンの認証セキュリ	ティ モード、管理者、およびデータ ディレクトリを指定します。			
プロダクト キー ライセンス条項 グローバル ルール Microsoft Update セットアップ ファイルのインストール インストール ルール セットアップ ロール 機能の選択 機能ルール インスタンスの構成 サーバーの構成 データベース エンジンの構成 機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了	サーバーの構成       データディレクトリ       FILESTREAM         データベース エンジンの認証モードおよび管理者を指定します。         認証モード         ○ Windows 認証モード(W)         ● 混合モード(M) (SQL Server 認証と Windows 認証)         SQL Server のシステム管理者 (sa) アカウントのパスワードを指定します。         パスワードの入力(E):         パスワードの確認入力(Q):         ● ● ● ● ● ● ● ●         SQL Server 管理者の指定         FUUNITE¥Administrator (Administrator)         ③         現在のユーザーの追加(C)         追加(Δ)         削除(R)	/er の管打 パースェ 無制限の ます。	理ンジアクセ	
	(4) < 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル	^	ッレプ	

#### **9**「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。

1	SQL Server 2014 セットアップ	_ 🗆 X
★ インストールの準備完了 インストールする SQL Server 20 プロダクト キー ライセンス条項 グローバル ルール Microsoft Update セットアップ ファイルのインストール インストール ルール セットアップ ロール 機能の選択 機能の選択 機能ルール	SQL Server 2014 セットアップ 014 の機能を確認します。 SQL Server 2014 インストールの準備完了: - エディション: Developer - アクション: Install - 必要なコンポーネント - Windows PowerShell 2.0 - Microsoft .NET Framework 3.5 - Microsoft .NET Framework 3.5 - Microsoft .NET Framework 4.0 - メディアからインストール:	
インスタンスの構成 サーバーの構成 データペース エンジンの構成 機能構成ルール インストールの準備完了 インストールの進行状況 完了		× >
	C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥120¥Setup Bootstrap¥Log¥20160928 < 戻る(B) インストール(I) キャンセ	_222809¥Configurati

10 「完了」画面が表示されたら、「閉じる」をクリックします。

- Intel Unite エンタープライズ・サーバーをインストールする
- 1 ダウンロードした Unite エンタープライズ・サーバーのインストーラー (Intel Unite Server.mui.msi)を実行し、セットアップを開始します。 V3.3 より古いバージョンからアップグレードインストールする場合は、アップグレードイン

ストールによりデータベースの内容が変更されます。変更は元に戻せないため、必要に応じ て事前にデータベースをバックアップしてください。

2 「次へ」をクリックします。

步 Int	el Unite® ソリューションのセットアップ 📃 🗖 🗙
(intel)	Intel Unite® ソリューションのセットアップ・ウィザ ードへようこそ
	セットアップ・ウィザードにより、コンピューターに Intel Unite® アプ リケーションがインストールされます。[次へ]をクリックして統行す るか、[キャンセル]をクリックしてセットアップ・ウィザードを終了し てください。
	戻る個 次へへ キャンセル

3 「使用許諾契約書に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

閿	Intel Unite® ソリューションのセットアップ	□ X
使	<b>用許誘契約書</b> 以下の使用許諾契約書をよくお読みください。	(intel)
ſ	Intel Unite® ソフトウェア・エンドユーザー使用許諾契約	^
1 < 7 -	重要 - 本ソフトウェアをコピー、インストール、使用する前に必ずお (ださい。 キンフトウェアおよび付属文書(「本ソフトウェア」)をコピー、インストール・ 布、公共の場で表示、または使用するお客様(「お客様」)は、あらかじめ 下の条項をよくお読みの上、これに同意してください。	<b>読み</b> 、頒 か以
	この契約書 (「本契約」) は、お客様による本ソフトウェアの使用に適所 5、お客様とインテル コーポレーション(「インテル」)(「両当事者」と総	用され 称) を ╰
	一使用許諾契約書に同意します(A)	
	印刷史 戻る個 次へ心	キャンセル

- **4** ①次の設定を行い、②「テスト接続」をクリックしてデータベース・サーバーへの接続に成功 することを確認できたら、③「次へ」をクリックします。
  - ·SQLホスト名: (local)
  - ・「信頼済み(Windows 認証)」を選択
  - ・ホスト(FQDN):このサーバーの FQDN(この例では「UniteServer.fjunite.local」)
  - ・サービス・アカウント・パスワード: UniteServer データベースのパスワードを設定(8文 字以上で、大文字、小文字、数字、記号がそれぞれ1文字以上使用されている必要があり ます。)

岁 Intel Unite® ソリューションのセットアップ	- 🗆 X
<b>データペース・サーバー</b> データベース・サーバーと認証方法を選択します。	(intel)
データベース・サーバー接続の詳細:	
SQL ホスト名: (local) 形式: IP またはサーバー名,ポート (例: hostname, 1234)	
●信頼済み(Windows 認証)	
○ ユーザー名とバスリートを指定 (SQL 認識) ログイン ID(L):	-
パスワード(P):	
テスト接続	
管理者 Web ポータルの設定:	
ホスト (FQDN): UniteServer.fjunite.local	
Intel Unite® データベース接続/セットアップの詳細:	
データベース名: UniteServer ①	
サービス・アカウント・パ スワード:	
パスワードの確認:	3)
	キャンセル

5 「データベース」をクリックして展開し、「ローカル ハード ドライブにすべてインストール」 をクリックし、最後に「次へ」をクリックします。

退	Intel Unite® ソリューションのセットアップ	- 🗆 X
<b>カスタム セット</b> 機能をインス	<b>アップ</b> トールする方法を選択してください。	(intel)
下のツリーの <b>アップグレー</b> ップしてくださ	アイコンをクリックして、機能をインストールする方法を変更してく ドをする場合、変更は元に戻せないため使用中のデータ <sup>と</sup> い。	ださい。 ベースをバックア
		イブの 0KB を必
	<ul> <li>回 必要時にインストール</li> <li>× インストールしない</li> </ul>	_
		参照(R)
リセット(S)	ディスク使用量(U) 戻る(B) 次へ()	1) キャンセル

**6** 「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。

₿	Intel Unite® ソリューションのセットアップ	_ 🗆 X
Intel Un	iite® アブリケーションのインストール準備完了	(intel)
インスト は変更 してくだ	・ールを開始するには [インストール] をクリックしてください。インストール するには [戻る] をクリックしてください。ウィザードを終了するには [キャン さい。	設定を確認また ・セル] をクリック
	戻る(B)   インストール(I)	キャンセル
インスト	ール完了後、「完了」 をクリックして	こ終了します

# ● 正常にインストールされたことを確認する

SQL Management Studio を使用して、UniteServer データベースが作成されていることを確認します。

1 ■ (スタート)をクリックし、アプリー覧を表示し、「SQL Management Studio」をクリックします。



# 2 SQL Server に接続します。

el	サーバーへの接続
Microsoft S	QL Server 2014
サーバーの種類( <u>T</u> ): サーバータ(S):	データベースエンジン
ジョインACOA 認証(A):	Windows IZEE
ユーサー名( <u>U</u> ): パスワード( <u>P</u> ):	F JUNI E#Administrator
	□ パスワードを保存する(M)
	) キャンセル ヘルプ オプション(の) >>

3 左側の枠で「データベース」をクリックして展開し、「UniteServer」データベースが作成され ていることを確認してください。

Microsoft SQL Server Management Studio (管理者)	_ 0 X
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) デバッグ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
: 🛅・田・岡 🚽 🥥 新いいカエリ(N) 🔓 🖓 🖓 🍐 🔤 🗟 (ク・ペーター島) 🍇 🕨 👘	+   🥙 👙
$x_{1}y_{2}x_{1}y_{1}$ $x_{1}x_{2}x_{2}x_{1}x_{2}$ $y_{2}x_{2}x_{1}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}$ $y_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}$ $y_{1}y_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x_{2}x$	
準備完了	

**4** ブラウザを起動し、次の URL を入力して管理者ポータルにアクセスし、インストールが成功したことを確認します。

https://<サーバー名>/admin(この例では <u>https://UniteServer.fjunite.local/admin</u>) デフォルトの管理者アカウント

ユーザー:admin@server.com

パスワード:Admin@1

上記の管理者アカウントで管理者ポータルに初回ログインした後は、必ずパスワードを変更 してください。

← 🔿 🛃 https://uniteserver.fjunite.local/admin/	,P + ≜ →	🔜 Admin Portal	×
(intel) UNITE			
Intel	Unite® ソリューションの管	埋者 Web ボー	タルへようこそ!
ここでは I を表示お。	ntel Unite® アプリケーショ よび管理できます。アクテ- ティブなユーザーの履歴	ンがインスト <del>-</del> ィブなデバイス を以下で確認す	-ルされているデハ の簡単な概要と、 できます。

🕞 💮 🖻 https://uniteserver.fstunite.local/admin/#/login	P ← 量 C Admin Portal ×
(intel) UNITE	
よログイン ユーザー名 パスワード ・・・・・・・	n <b>*</b>
ログイン情報を記 送信 パスワードをお忘れですか?	意

• 新しいパスワードを設定

C The https://uniteserver.fstunite.local/admin/#/login	り マ 싙 C 🔄 Admin Portal 🛛 🗙
(intel) UNITE	
よ ログイン	
ユーザー名 admin@server.com 新しいパスワード	n
パスワードは6文字以上で、数字、大文字、小文字、特殊	文字を 1 文字以上含める必要があります。
バスワードの確認	
ログイン情報を記     キャンセル 送信 アカウントのパスワード	憶 をリセットする必要があります

5 ブラウザを起動し、次の URL にアクセスして、Web サービスのインストールが正常に完了したことを確認します。

https://<サーバー名>/unite/ccservice.asmx (この例では https://UniteServer.fjunite.local/unite/ccservice.asmx )

**6** 「GetProfile」を選択します。



7 「値」の入力欄に、「test」と入力し、「起動」をクリックします。

C C M ttps://uniteserver.funite.local/unite/ccservice.asmx?op=GetProfile	Q + A →	@ cc
		<u> </u>
CCService		
<u>ここ</u> をクリックすると操作の完全な一覧が表示されます。		
GetProfile		
ታスዞ		
HTTP POST プロトコルを使って操作をテストするには、[起動] ボタンをクリックしてください。 パラメーター 値 fadn: test		
起動		

#### 8 次のように xml ファイルのデフォルト・プロファイルが表示されるか確認します。

これは、PIN サービスがデータベースにアクセスでき、正常にデータを取得できることを意味します。

	_ 🗆 X
(今) ② https://uniteserver.fjunite.local/unite/ccservice.asmx/GetProfile P * 量 > ② CCService Web サービス ② uniteserver.fstunite.local ×	în ★ 🕸
	^
xml version="1.0" encoding="UTF-8"?	
- <arrayofkeyvaluepair <="" p="" xmlns="http://tempuri.org/" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"></arrayofkeyvaluepair>	
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">	
+ <keyvaluepair></keyvaluepair>	
- <keyvaluepair></keyvaluepair>	
<key>AudioVideoStreamingSupport</key>	
<value>true</value>	
< ISPUDIC>Taise	
<pre><keyvalueral></keyvalueral></pre>	
- <kevvaluepair></kevvaluepair>	
<kev>DisplayPinSize</kev>	
<value>48</value>	
<ispublic>false</ispublic>	
- <keyvaluepair></keyvaluepair>	
<key>DisplayPinTransparency</key>	
<value>100</value>	
<ispublic>false</ispublic>	
- <keyvaluepair></keyvaluepair>	
<key>FileBlockedExtensions</key>	
<value></value>	
<ispublic>false</ispublic>	
- <keyvaluepair></keyvaluepair>	
<key>HIEMAXSIZe</key>	
<value>214748364/</value>	
<spudic>TaiSe</spudic>	
Key Valuerali	
<pre></pre>	
<t< td=""><td></td></t<>	
- <kevvaluepair></kevvaluepair>	
<key>FullScreenRoomModeBackgroundColor</key>	$\sim$
and the second sec	

- 電子メールサーバーの設定
- 1 「C:¥Program Files (x86)¥Intel¥Intel Unite¥WebApi¥Web.config」ファイルをメモ帳などで開きます。

🖓 🚺 =			WebApi				_ <b>D</b> X
ファイル ホーム 共有	表示						~
🕣 🕘 🝷 🕇 퉬 🕨 PC	▶ ローカル ディスク (C:) ▶ Program Files	(x86) ► Intel ► Intel Un	ite 🕨 WebApi		× ¢	WebApiの検索	م ر
☆ お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ			
ダウンロード	🎴 bin	2017/11/14 16:13	ファイル フォルダー				
= デスクトップ	🔒 obi	2017/11/14 16:13	ファイル フォルダー				
□ 最近表示した場所	Properties	2017/11/14 16:13	ファイル フォルダー				
	scripts	2017/11/14 16:13	ファイル フォルダー				
PC	Views	2017/11/14 16:13	ファイル フォルダー				
	ApplicationInsights.config	2017/10/21 15:29	XML Configurati	7 KB			
ネットワーク	packages.config	2017/10/21 15:29	XML Configurati	4 KB			
	PrecompiledApp.config	2017/10/21 15:34	XML Configurati	1 KB			
	B Web.config	2017/11/29 15:47	XML Configurati	7 KB			
	🚯 Web.Debug.config	2017/10/21 15:29	XML Configurati	2 KB			
	Web.Release.config	2017/10/21 15:29	XML Configurati	2 KB			
	🚯 Web_smtp.config	2017/11/29 15:47	XML Configurati	7 KB			
	WebAPI.csproj	2017/10/21 15:29	CSPROJ ファイル	20 KB			
	WebAPI.csproj.user	2017/10/21 15:29	USER J711	2 KB			
4個の項目 1個の項目を	2選択 6.48 KB						8==

#### 2 以下の内容を<system.net>と</system.net>の間に追加し、上書き保存します。

```
<mailSettings>
  <smtp from = "送信元とするメールアドレス" deliveryMethod=" Network" >
  <network host=" Exchange サーバーの FQDN" port=" 25" username="認証に使用
するアカウント名" password="認証に使用するアカウントパスワード" />
  </smtp>
  </mailSettings>
  <force>
  </force>
  </force>
  <force>
  <forc
```

- Unite Hub 用の Active Directory のアカウント作成
  - 1 【 (スタート) →「管理ツール」の順にクリックし、「サーバー マネージャー」をダブルク リックします。
  - 2 「ツール」から「Active Directory ユーザーとコンピューター」をクリックします。



3 ①左枠のサーバー(この例では fjunite.local)をクリックして展開し、②「User」をクリックし、③「現在のコンテナーに新しいユーザーを作成」をクリックします。

Active Active	e Directory ユー	ザーとコンピューター		1 X
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	<u> </u>			
♦ ♦ 2 🖬 ¼ 🗎 🗙 🖬 Q 🖦 1	TT 🚺 🐮 🕅	7 🖻 🍇		
Active Directory ユーザーとコンt Active Directory ユーザーとコンt Bratithon Builtin Builtin Builtin Builtin Computers BoreignSecurityPrincip Managed Service Acco Builtin Users 2 Computers Builtin Computers Builtin Computers Builtin		・ このがいユーザーを作成 コンビューター「ドメインの管… このガルーブのメンバーは、… このガルーブのメンバーは、… このガルーブの、ドメインコ… このガルーブの、ドメインコ… DHCP サービスに対し資… DHCP サービスに対し資… DHCP サービスに対し資… DHCP サービスに対しう… ドメインの管理者 ドメインの管理者 ドメインの意味でのドメイン … ドメインの意味でのドメイン … ドメインの意味でのドメイン … ドメインの意味でのドメイン … ドメインの意味でのドメイン … ドメインの意味でのドメイン … ドメインの意味でのドメイン …		1
< III > & RAS and I	<ul> <li>・ セキュリティ グル</li> <li>・ セキュリティ グル</li> </ul>	このグループのメンバーには このグループのサーバーはユ		*

4 「姓」、「名」、「ユーザー ログオン名」を設定し、「次へ」をクリックします(この例では、姓: Unite、名:Hub、ユーザーログオン名:UniteHub としています。)。

	新しいオブジェクト - ユー	-ザ–	X	
🧏 作成先:	fjunite.local/Users			
姓( <u>L</u> ):	Unite			
名(E):	Hub	イニシャル		
フル ネーム( <u>A</u> ):	フルネーム( <u>A</u> ): Unite Hub			
<u>ユーザー ログオン名(U)</u> :				
UniteHub @fjunite.local V				
ユーザー ログオン名 (Wir	ndows 2000 より前)( <u>W</u> ):			
FJUNITE¥ UniteHub				
	< 戻る( <u>B</u> )	次へ( <u>N</u> ) > キャンセル		

# 5 パスワードの初期値等を必要に応じて設定し、「次へ」をクリックします。

新しいオブジェクト - ユーザー	x
人 作成先: fjunite.local/Users	
バスワード( <u>P</u> ): バスワードの確認入力( <u>C</u> ):	
<ul> <li>□ ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要(M)</li> <li>□ ユーザーはパスワードを変更できない(<u>S</u>)</li> </ul>	
<ul> <li>□パスワードを無期限にする(W)</li> <li>□アカウンドは無効(Q)</li> </ul>	
必要に応じて設定	
< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > ≠ャンセ	JL

### 6 「完了」をクリックします。

新しいオブジェクト - ユーザー	x
🤱 作成先: fjunite.local/Users	
[完了]をクリックすると、次のオブジェクトが作成されます:	
フルネーム: Unite Hub	^
ユーザー ログオン名:UniteHub@fjunite.local	
< 戻る( <u>B</u> ) 完了 キャンセ	UF .

### Unite ハブのインストール

- ハブ PC (Q956/MRE) のセットアップ
  - ┦ 取扱説明書の手順に従い、ハブ PC (Q956/MRE)の Windows セットアップを行います。
  - 2 使用中に省電力モード状態にならないよう次の設定をします。
    - 【(スタート)→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「電源 オプション」の順にクリックします。
    - 「バランス」の「プラン設定の変更」をクリックし、次のように設定します。
      - ディスプレイの電源を切る:適用しない
      - コンピューターをスリープ状態にする:適用しない
    - ③ 「変更の保存」をクリックし、ウィンドウを閉じます。
  - 3 ハブ PC を、先にセットアップしたサーバー管理下のネットワークに接続します。
  - 4 ハブ PC を「ドメインのセットアップ (→P.14)」で作成したドメインに参加させます。
    - ① 「スタートボタン」を右クリックし、「コントロール パネル」をクリックします。
    - ② 「システムとセキュリティ」から「システム」をクリックします。
    - ③ 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」の「設定の変更」をク リックし、「システムのプロパティ」を開きます。
    - ④ 「変更」をクリックします。
    - ⑤ 所属するグループの「ドメイン」をクリックし、作成したドメイン名を入力(この例では"fjunite.local")し、「OK」をクリックします。

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
בשעב	ター名/ドメイン名の変更	×
このコンビ ワーク リ:	ビューターの名前とメンバーシップを変更でき ソースへのアクセスに影響する場合がありま	きます。変更により、ネット ます。
ววย่า-	-夕-名( <u>C</u> ):	
DESKT	OP-VQSUR2F	
ועב עול DESKTC	/ピューター名: OP-VQSUR2F	
		詳細( <u>M</u> )
所属す	するグループ	
١	ドメイン( <u>D</u> ):	
	fjunite.local	
05	ワークグループ( <u>W</u> ):	
[	WORKGROUP	
1	ОК	キャンセル

6)

ドメインに参加するためのアクセス許可のあるアカウントの名前とパスワードの入 力を要求されますので、「Unite Hub用のActive Directoryのアカウント作成(P.61)」 で作成したアカウント情報を入力(この例では、ユーザー名:UniteHub)し、「OK」 をクリックします。

<b>u</b> , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
Windows セキュリティ	Х
コンピューター名/ドメイン名の変更 ドメインに参加するためのアクセス許可のあるアカウントの名前とパスワードを入力 ださい。	してく
UniteHub ●●●●●●●●● 形化ン: fjunite.local	
ОК <b>キ</b> ャン1	zJV

- ⑦ ドメインへの参加が表示されますので「OK」をクリックし、システムの再起動の要求が表示されたら「OK」をクリックし、システムを再起動します。
- ⑧ サインイン画面にて、画面左下の「他のユーザー」をクリックし、「Unite Hub 用の Active Directory のアカウント作成(P.61)」で作成したアカウントでサインインしま す(この例では、ユーザー名: UniteHub)。
- 証明書のインストール

作業中に「このアプリが PC に変更を加えることを許可しますか?」と表示された場合は、エン タープライズ・サーバーの管理者アカウント情報を入力してください。

- 1 ブラウザを起動し、下記 URL にアクセスします。
  - http://<サーバー名>/certsrv(この例では http://UniteServer.fjunite.local/certsrv )
  - ユーザー名とパスワードが要求されますので、「エンタープライズ・サーバーのインスト ール(P.4)」でセットアップしたエンタープライズ・サーバーの管理者アカウントとパ スワードを入力して「OK」をクリックします。

Microsoft Edge	
Microsoft Edge uniteserver.fjunite.local へ接続しています。 8	
Administrator	
••••••	<u>م</u>
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>م</u>
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*
・・・・・・・ ドメイン: FJUNITE 資格情報を記憶する	<u>م</u>
・・・・・・・・ ドメイン: FJUNITE 資格情報を記憶する	*

2 「Microsoft Active Directory 証明書サービス」画面で、「CA 証明書、証明書チェーン、または CRL のダウンロード」をクリックします。



「CA 証明書のダウンロード」をクリックし、証明書を任意のフォルダに保存します。

□ Microsoft Active Directo × □ スタート +			-		×	
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\circlearrowright$ uniteserver.fjunite.local/certsrv/certcarc.asp	□ ☆	₽	2	٩		
Microsoft Active Directory 証明書サービス fjunite-UNITESERVER-CA				1	k-A	
CA 証明書、証明書チェーン、または CRL のダウンロード						
コンビューターがこの証明機関から発行されている証明書を信頼できるようにするために、 <u>この CA 証明書をインストール</u> してください。						
CA 証明書、証明書チェーン、または CRL をダウンロードするために、証明書とエンコード方式を選択してください。						
CA 証明書: 現在 [fjunite-UNITESERVER-CA] エンコード方式:						
● DER ○ Base 64						
<td <td<="" td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>					

**4** ダウンロードした証明書をダブルクリックし、「証明書のインストール」をクリックします。

💭 証明書	×
全般 詳細 証明のパス	
正明書の情報	-
この証明書の目的:	
● すべての発行ポリシー - オがてのアプリケーション プリシー	
• 9 \C()))))-)=)=)///)))-	
発行者: fjunite-UNITESERVER-CA	
有効期間 2016/09/28 から 2021/09/28	
証明書のインストール(」) 発行者のステートメント(S)	
OK	

**5**保存場所の「ローカルコンピューター」をクリックし、「次へ」をクリックします。

← <i>憂</i> 証明書のインポート ウィザード	×
証明書のインポート ウィザードの開始	
このウイザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー します。	
証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護 されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム 上の領域です。	
保存場所 〇 現在のユーザー( <u>C</u> ) 回 ーカル コンピューター(L)	
続行するには、[次へ] をクリックしてください。	
	,

#### 6 「証明書をすべて次のストアに配置する」をクリックし、「参照」をクリックします。

÷	☞ 証明書のインポート ウィザード	×
	証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
	Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
	<ul> <li>○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)</li> <li>● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)</li> </ul>	
	証明者ストリ: 参照( <u>R</u> )	
	次へ(N) キャンセ	JL

7 「信頼されたルート証明機関」をクリックし、「OK」をクリックします。

証明書ストアの選択	×
使用する証明書ストアを選択してください( <u>C</u> )	
<ul> <li>□</li> <li>□<td>î</td></li></ul>	î
<sup>21</sup> 信頼されていない証明書 … <sup>21</sup> サードパーティルート証明機関	~
□ 物理ストアを表示する( <u>S</u> )	
OK キャンセル	

8 「証明書ストア」に「信頼されたルート証明機関」が表示されていることを確認し、「次へ」を クリックします。

←	×
証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
<ul> <li>○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(<u>U</u>)</li> <li>● 証明書をすべて次のストアに配置する(<u>P</u>)</li> </ul>	
証明書ストア: 信頼されたルート証明機関 参照(R)	
次へ(N) キャンセ	JL _

9	「完了」をクリックします。	
	← 😺 証明書のインポート ウィザード	×
	証明書のインポートウィザードの完了	
	[完了]をクリックすると、証明書がインポートされます。	
	次の設定が指定されました: ユーザーが選択した証明書ストア 内容 証明書	
	完了(E) キャンセ	JL

10 正しくインポートされたメッセージが表示されたことを確認し、ウィンドウを閉じます。

 Intel Unite ハブ アプリケーションのインストール 作業中に「このアプリが PC に変更を加えることを許可しますか?」と表示された場合は、エン タープライズ・サーバーの管理者アカウント情報を入力してください。
 V3.3 より古いバージョンからアップグレードインストールする場合は、動作中のハブ アプリケ ーションを終了させてください。

1 ダウンロードしたインストーラー「Intel Unite Hub.mui.msi」を実行します。

2 「次へ」をクリックします。



3 使用許諾契約書の内容を確認し、「使用許諾契約書に同意します」にチェックをつけ、「次へ」 をクリックします。



**4** 「エンタープライズ」をクリックし、「次へ」をクリックします。

🞲 Intel Unite® ソリューションのセットアップ	3 <u>—</u> 8		×
Intel Unite® ソリューションのインストール方法を選択してください。 エンタープライズまたはスモールビジネスの設定で Intel Unite® ソリューション ンストールします。	७७४	(int	el
エンタープライズ:Intel Unite® ソリューションを6部屋以上で使用 大規模のビジネス環境や教育環境に対応しています。最高のセ ● 可能なプラグインサポート、最も幅広いデバイス相互運用性を備 使用のネットワーク上に必要なサーバー・コンポーネントが存在した せん。	月する中 キュリテ・ えていま なければ	規模~ (、拡張 ざなりま	
スモールビジネス:Intel Unite® ソリューションを 5 部屋以下で使り ビジネス環境でのシンプルなインストールに対応しています。サー/ ントは必要ありません。Windows PC および Mac をサポート。評価 奨されません (スモールビジネスのお客様を除く)。	用するス ドー・コン 師の目的	モール ポーネ には推	
エンタープライズとスモールビジネスのインストールには機能の違いがあります。使用可能な機 ・コンボーネントの完全な比較については、ユーザーガイドを参照してください。	能上必要加	)))1-991	e
戻る(日) 次へ(N)	)	キャン	216

V3.3 より古いバージョンからのアップグレードインストール時、現在の設定を維持する場合は、「次へ」をクリックして手順6へ進んでください。維持しない場合はチェックを外してから「次へ」をクリックして手順5へ進んでください。

Intel Unite® ソリューションのセットアップ ー 〇 ×
Intel Unite® ソリューションのインストール方法を選択してください。 エンタープライズまたはスモールビジネスの設定で Intel Unite® ソリューションをイ ンストールします。
☑現在の設定を維持
エンタープライズ:Intel Unite® ソリューションを6部屋以上で使用する中規模~ 大規模のビジネス環境や教育環境に対応しています。最高のセキュリティ、拡張 ● 可能なプラグインサポート、最も幅広いデバイス相互運用性を備えています。ご 使用のネットワーク上に必要なサーバー・コンポーネントが存在しなければなりま せん。
スモールビジネス:Intel Unite® ソリューションを 5 部屋以下で使用するスモール ビジネス環境でのシンプルなインストールに対応しています。サーバー・コンポーネ ントは必要ありません。Windows PC および Mac をサポート。評価の目的には推 奖されません (スモールビジネスのお客様を除く)。
エンタープライズとスモールビジネスのインストールには機能の違いがおります。使用可能な機能と必要なソリューション ・コンボーネントの完全な比較については、ユーザーガイドを参照してください。
戻る(B) 「次へ(N)」 キャンセル

5 「サーバーの自動検索」をクリックし、「証明書の公開キーを入手している」のチェックが外れ ていることを確認し、「次へ」をクリックします。

😸 Intel Unite® ソリューションのセットアップ		3 <u>—</u> 3	□ ×
<b>PIN サーバーに接続</b> PIN サーバー接続設定を指定します。			(intel)
<ul> <li>・サーバーの自動検索</li> <li>・サーバーの指定</li> <li>PIN サーバーのホスト名を入力:</li> </ul>			
例:somedomain.com 証明書の公開キーを入力:			
    証明書の公開キーを入手している			
	戻る(18)	次へ図	キャンセル



😹 Intel Unite® ソリューションのセットアップ	-		×
インストール先フォルダー 既定のフォルダーにインストールするには [次へ] をクリックし、 別のフォルダーを選択するには [変更] をクリックします。		(inte	
Intel Unite® アプリケーションを次の場所にインストール:			
C:¥Program Files (x86)¥Intel¥Intel Unite¥Hub¥ 変更(C)			
☑デスクトップ・アイコンの作成			
戻る(B) 次へ(N)	4	キャンセル	]

7 「インストール」をクリックし、インストールを開始します。

记 Intel Unite® ソリューションのセットアップ	8 <u>—</u> 8		×
Intel Unite® アプリケーションのインストール準備完了		(inte	P
インストールを開始するには [インストール] をクリックしてください。 イン は変更するには [戻る] をクリックしてください。 ウィザードを終了する( してください。	ノストール設定 こは [キャンセノ	を確認また 」。をクリック	
戻る(B) <b>マ</b> インス		キャンセノ	k
8 「Intel Unite アプリケーションの起動」のチェックを外し、「完了」をクリックし、インスト ールを終了します。



## ファイアウォールの設定

エンタープライズ・サーバーと通信するには、ファイアウォールで Intel Unite アプリケーショ ンを除外する必要があります。Q956/MRE に標準添付のマカフィー リブセーフ インターネッ トセキュリティでの除外手順は次の通りです。

- 1 管理者権限のあるアカウントでサインインします。
- 2 タスクバーの通知領域に表示されている McAfee のアイコンを右クリックし、「設定の変更」→ 「ファイアウォール」の順にクリックします。



	マカフィー リブセーフ - インターネッ	トセキュリティ を開く
	更新の確認	
	スキャン	>
リアルタイムスキャン	設定の変更	>
ファイアウォール	契約を購入	
9八(の設定を表示	マイアカウントを表示	
	ヘルプを見る	
S 5.		× - A 2016/09/30

3 「プログラムのインターネット接続」→「追加」の順にクリックします。

McAfee マカフィーリブセーフ-インターネットセキュリティ	-
ファイアウォール:有効 ファイアウォールは、パソニンの乗っ取りや個人情報を盗む侵入者からの攻撃を阻止します。また、パソニンからの送受信される通信を 監視します。	<ul> <li>ホーム</li> <li>設定・機能等-</li> <li>ヘルブ</li> </ul>
<u>詳細水見る</u> 無効にする デフォルトに戻す	
> > > > > > > > <p< td=""><td></td></p<>	
スマート リコメンデーションと詳細設定	
ファイアウォールの履歴	パンゴンでウイルス、 ウェアなどの脅威の有 確認する: 自動スキャ
プログラムのインターネット接続	スケシュールを設定し
マイネットワーク接続	
pyright © 2015 McAtee, Inc. 自成マップ	リバージョン情報 😡
An Intel Company マカフィー リブセーフ-インターネットセキュリティ	_
	<b>斋</b> 木-ム
X ファイアウォール: 有効 X ファイアウォールは、パンコンの乗っ取りや個人情報を盗む侵入者からの攻撃を阻止します。また、パンコンからの送受信される通信を 監視します。	<ul> <li>              設定・機能等-      </li> <li>             ヘルブ         </li> </ul>
詳細 <u>が見る</u> (無効にする) デフォルトに戻す	
プログラムのインターネット接続	
インターネットへのアクセスを許可するブログラムを選択します。ネット ガードを使用して、危険な接続を回避します。	
プログラム         アクセス         ネットガード	パソコンでウイルス、
Internet Laparet     In	確認する: 自動スキャ スケジュールを設定し
Image: Presentation Point acreates	
<b>15/1</b> /1 編集 <u>削</u> 除	

	_ ×
	俞 ホーム
ファイアウォール:有効 × ファイアウォールは、パンゴンの乗っ取りや個人情報を盗む侵入者からの攻撃を阻止します。また、パンゴンからの送受信される通信を 監視します。	<ul> <li>         設定・機能等一覧         へルブ     </li> </ul>
プログラムのインターネット接続  インターネットへのアクセスを許可するプログラムを選択します。ネット ガードを使用して、危険な接続を回避します。 新しいプログラムを追加	
プログラム: 参照 アクセス:	パンニンでウイルス、スパ ウェアなどの脅威の有悪。 確認する: 自動スチャンの スケッシュールを設定します
<ul> <li> ● 受信と送信  </li> <li> 14/2 + 55 + 4/2 - 1 × (前田オ 2 (推編) </li> <li> 詳細水見ろ  </li> <li> 保存  キャンセル</li></ul>	

"C:¥Program Files (x86) ¥Intel¥Intel Unite¥Hub¥Intel Unite" をクリックし、「開く」をクリックします。

◎ 開く							Х
← → ~ ↑ 📙 C:¥Pro	gram Files (x86)¥Intel¥Intel Unite¥Hub			∼ Č H	ubの検索		Ą
整理 ▼ 新しいフォルダー						= <b>-</b>	?
📌 クイック アクセス	名前	更新日時	種類	サイズ			
🔜 デスクトップ 🛛 🖈	de 🔤	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
🚽 ダウンロード 🔹 🖈	es	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
	📊 fr	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
	📙 it	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
E977 *	🔜 ja	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
UniteImage	📙 ko	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
📑 ビデオ	PlatformChecks	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
🎝 ミュージック	📕 pt	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
ConsDrive	x64	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
Chebrive		2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
PC	📕 zh-Hans	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
	zh-Hant	2016/09/29 11:52	ファイル フォルダー				
- USB (51 / (C)	um Intel Unite	2016/04/15 7:50	アプリケーション	1,476 KB			
🥏 ネットワーク							
7-717	¢ (NN. 1 111 - 1						
771704					Applications (".e	(e)	~
					開<( <u>O</u> )	キャンセ	ル

				▲ ホーム
ファイアウォール: 有効 ファイアウォールは、バンエンの乗っ取りや個人作 監視します。	輔を盗む侵入者からの攻撃を阻止します	た。また、パソニンからの	送受信される通信を	<ul> <li>              設定・機能等</li></ul>
詳細大見 <u>ろ</u>	無効にす	する デフォ	・ルトに戻す	
プログラムのインターネット接続			\$	
プログラム: <sup>Jung</sup> C:\program files (x86)\intel\intel unite\hub\i	ntel unite.exe		~	
アクセス:				
				パンコンでウイルス
9 へ C の テハイス IC 開入				確認する:自動スキ
○ ○ ブロック				
1 1 10 ba			~	

**7** Window をサインアウトし、元のアカウントでサインインし直します。

● Intel Unite アプリケーション (ハブ)の起動。

1 デスクトップの Intel Unite のアイコンをダブルクリックし、実行します。



Intel Unite アプリケーション(ハブ)が起動し、「Intel Unite アプリケーション・プライバ シー・ステートメント」画面が表示されます。 2 内容を確認し、「はい」または「いいえ」をクリックします。

再度、この画面を表示したくない場合はチェックボックスをチェックしてください。



Intel Unite アプリケーション(ハブ)が起動し、エンタープライズ・サーバーと接続が確立 されると、画面上に PIN(x x x - x x x の形式の6ケタの数字)が表示されます。



## Unite クライアントのインストール

クライアント PC をサーバー/ハブ PC が接続されているネットワークに接続します。 クライアントはエンタープライズ・サーバーを探してチェックインできる必要があり、エンタープ ライズ・サーバーと通信するには、ファイアウォールで Intel Unite アプリケーションを除外する 必要があります。除外すべき Unite アプリケーションはデフォルトでは下記になります。

・ 32 ビット OS: C:¥Program Files¥Intel¥Intel Unite¥Client¥Intel Unite.exe

64 ビット OS: C:¥Program Files (x64)¥Intel¥Intel Unite¥Client¥Intel Unite.exe
 除外手順に関しては、各クライアント PC で設定されているファイアウォール・ソフトウェアの説
 明書を参照ください。

V3.3 より古いバージョンからアップグレードインストールする場合は、動作中のクライアントアプリケーションを終了させてください。

- 1 Web サイトまたはエンタープライズ・サーバーのダウンロード・ページから、クライアント・ アプリケーションのインストーラー「Intel Unite Client.mui.msi」をダウンロードし、実行し ます。
  - Web サイトからダウンロードしたインストーラーでは、クライアントが接続するエンタ ープライズ・サーバーの指定が可能です。ただし、推奨設定は「サーバーの自動検索」 となります。
  - エンタープライズ・サーバーのダウンロード・ページは次のとおりです。 http://<サーバー名>/download

(この例では http://UniteServer.fjunite.local/download)



2 「次へ」をクリックします。



3 使用許諾契約書を確認し、「使用許諾契約書に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリ ックします。

撮 Intel Unite® ソリューションのセットアップ –	×
使用許諾契約書 以下の使用許諾契約書をよくお読みください。	tel
Intel Unite® ソフトウェア・エンドユーザー使用許諾契約	^
重要 - 本ソフトウェアをコビー、インストール、使用する前に必ずお読み ください。 本ソフトウェアおよび付属文書(「本ソフトウェア」)をコビー、インストール、頒 布、公共の場で表示、または使用するお客様(「お客様」)は、あらかじめ以 下の条項をよくお読みの上、これに同意してください。	*
この契約書 (「本契約」) は、お客様による本ソフトウェアの使用に適用される、お客様とインテル コーポレーション(「インテル」)(「両当事者」と総称) 「図)使用許諾契約書に同意します(A)	। を <b>&gt;</b>
印刷(2) 戻る(8) 次へ(11) キャ	ンセル

- **4** 「エンタープライズ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
  - 手順1でエンタープライズ・サーバーのダウンロード・ページからインストーラーをダウンロードした場合、この画面は表示されません。手順6に進んでください。

i Intel Unite® ソリューションのセットアップ – 🗆 🗙
Intel Unite® ソリューションのインストール方法を選択してください。 エンタープライズまたはスモールビジネスの設定で Intel Unite® ソリューションをイ ンストールします。
エンタープライズ:Intel Unite® ソリューションを6部屋以上で使用する中規模〜 大規模のビジネス環境や教育環境に対応しています。最高のセキュリティ、拡張 ● 可能なプラグインサポート、最も幅広いデバイス相互運用性を備えています。ご 使用のネットワーク上に必要なサーバー・コンポーネントが存在しなければなりま せん。
スモールビジネス:Intel Unite® ソリューションを 5 部屋以下で使用するスモール ビジネス環境でのシンプルなインストールに対応しています。サーバー・コンボーネ ントは必要ありません。Windows PC および Mac をサポート。評価の目的には推 奨されません (スモールビジネスのお客様を除く)。
エンタープライズとスモールビジネスのインストールには機能の違いがおります。使用可能な機能と必要なソリューション ・コンボーネントの完全な比較については、ユーザーガイドを参照してください。
戻る(B) 大へ(N) キャンセル

Web サイトからダウンロードしたインストーラーを使用して、V3.3 より古いバージョンから アップグレードインストールを行った場合、以下の画面が表示されます。現在の設定を維持 する場合は、「次へ」をクリックして手順6へ進んでください。維持しない場合はチェックを 外してから「次へ」をクリックして手順5へ進んでください。

🖶 Intel Unite® ソリューションのセットアップ — 🗆 🗙
Intel Unite® ソリューションのインストール方法を選択してください。 エンタープライズまたはスモールビジネスの設定で Intel Unite® ソリューションをイ ンストールします。
☑現在の設定を維持
エンタープライズ:Intel Unite® ソリューションを6部屋以上で使用する中規模~ 大規模のビジネス環境や教育環境に対応しています。最高のセキュリティ、拡張 ● 可能なプラグインサポート、最も幅広いデバイス相互運用性を備えています。ご 使用のネットワーク上に必要なサーバー・コンポーネントが存在しなければなりま せん。
スモールビジネス:Intel Unite® ソリューションを 5 部屋以下で使用するスモール ビジネス環境でのシンプルなインストールに対応しています。サーバー・コンポーネ ントは必要ありません。Windows PC および Mac をサポート。評価の目的には推 奖されません (スモールビジネスのお客様を除く)。
エンタープライズとスモールビジネスのインストールには機能の違いがあります。使用可能な機能と必要なソリューション ・コンボーネントの完全な比較については、ユーザーガイドを参照してください。
戻る(B) 次へ(N) キャンセル

5 「サーバーの自動検索」をクリックし、「証明書の公開キーを入手している」のチェックが外れていることを確認し、「次へ」をクリックします。

记 Intel Unite® ソリューションのセットアップ				×
<b>PIN サーバーに接続</b> PIN サーバー接続設定を指定します。			(int	el
<ul> <li>●サーバーの自動検索</li> <li>○サーバーの指定</li> <li>PIN サーバーのホスト名を入力:</li> </ul>				r
 例:somedomain.com 証明書の公開キーを入力:				
□証明書の公開キーを入手している	戻る個	次へ図	キャン	214

## 6 「次へ」をクリックします。

ill Intel Unite® ソリューションのセットアップ ー	
インストール先フォルダー 既定のフォルダーにインストールするには [次へ] をクリックし、 別のフォルダーを選択するには [変更] をクリックします。	(intel)
Intel Unite® アプリケーションを次の場所にインストール:	
C:¥Program Files (x86)¥Intel¥Intel Unite¥Client¥ 変更( <u>C</u> )	
☑デスクトップ・アイコンの作成	
戻る個 次へM キャ	ッセル

「インストール」をクリックします 7



8 再起動を要求された場合は、「はい」をクリックします。



*9* デスクトップの Intel Unite のアイコンをダブルクリックし、実行します。 Intel Unite アプリケーション(クライアント)が起動し、「Intel Unite アプリケーション・ プライバシー・ステートメント」が表示されます。 10 内容を確認し、「はい」または「いいえ」をクリックします。

再度、この画面を表示したくない場合は「今後このダイアログを表示しない」のチェックを付けます。



11 「サーバーのセキュリティ証明書に問題があります。・・・」という画面が表示された場合は、 「承認」をクリックします。

Intel Unite®	x
	サーバーのセキュリティー証明書に問題があります。この証 明書の使用を続行する場合は [承認] を、ブロックする場 合は [キャンセル] をクリックします。
証明	書の表示 承認 キャンセル

12 ハブ PC の画面上に表示された PIN(6ケタの数字)を入力します。PIN は一定時間ごとに更新 されますので注意が必要です。



ハブ PC との通信が確立されると、プレゼンテーション準備完了の画面が表示され、使用準備 が完了します。

	- ×
授続先: DESKTOP-BJTHFC9	切断
プレゼンテーション準備 完了 画面のプレゼンテー ション ・・・・ アプリケーションのプレゼン テーション	
インテル搭載	¢

Unite アプリケーションの使用方法については、「Intel Unite ソリューション V3.3 ユーザ ーガイド.pdf」をご覧ください。

Intel Unite® V3.3 ソリューション構築ガイド B6FK-1201-01 Z0-00 発行日 2018年9月 発行責任 富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 ●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 ●無断転載を禁じます。